

一般社団法人日本実験動物技術者協会
第57回総会
(法人第7期社員総会)

総会議事 (案)

期 日： 2023年10月20日 (金)
13:30～15:20

場 所： コラッセふくしま 多目的ホール (A会場)
(福島県福島市三河南町1-20)

一般社団法人日本実験動物技術者協会

<http://jaeat.org/>

総会次第

1. 開会
2. 議長選出
3. 議事録署名人（議長）と総会成立宣言
4. 議事
 - 第1号議案 令和4年度（法人第7期）事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 - 第2号議案 令和4年度（法人第7期）決算報告ならびに監査報告・・・・・・・・・・ 10
 - 第3号議案 令和5年度役員を選任・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
 - 第4号議案 令和5年度（法人第8期）事業計画（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
 - 第5号議案 令和5年度（法人第8期）予算案・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
 - その他事項 報告事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
5. 閉会

資料

1. 令和5年度 理事・部局長・監事（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
2. 令和5年度 部局・委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
3. 令和5年度 評議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
4. 令和5年度 支部役員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
5. 令和5年度 賛助会員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
6. 規程類（令和4年度改正分）
 - 部局運営規定（令和4年11月23日一部改正）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
 - 表彰規程（令和5年6月22日一部改正）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
 - 実験動物福祉奨励賞選考細則（令和5年6月3日一部改正）・・・・・・・・・・・・ 41
 - 一般社団法人日本実験動物技術者協会の事業における押印文書に関する申し合わせ
（令和5年7月24日施行）・・・・・・・・ 43
 - 「実験動物技術」投稿要綱（令和5年6月30日一部改正）・・・・・・・・・・・・ 46
7. 添付（2023年10月5日協会HP公開分の総会議案書（案）からの一部追記・修正箇所一覧） 50

表彰

表彰ならびに顕彰

- ・ 第42回研究奨励賞
- ・ 第29回実験動物技術功労賞
- ・ 第22回顕彰（顕彰第19号）
- ・ 第14回実験動物福祉奨励賞

第26回業界アワード

- ・ 日本実験動物協同組合賞
- ・ 日本実験動物飼料協会賞
- ・ 日本実験動物器材協議会賞

【第1号議案】

法人第7期事業報告

(2022年9月1日～2023年8月31日)

1. 会員数（事業最終日：2023年8月31日）
 - 1) 名誉会員

2022年8月31日	1名
2023年8月31日	1名（増減0）
 - 2) 顧問

2022年8月31日	6名
2023年8月31日	7名（1名増）
 - 3) 個人会員

2022年8月31日	894名
2023年8月31日	859名（35名減）
 - 4) 賛助会員

2022年8月31日	69社
2023年8月31日	67社（2社減）
2. 機関誌と広報の発行
 - 1) 機関誌

Vol. 57 No. 2（2022年12月発行） 送本956冊 販売5冊
Vol. 58 No. 1（2023年6月月発行） 電子版にて配信（個人・賛助会員）
 - 2) 広報

第46-1号（2023年1月発行） 電子版にて配信（個人・賛助会員）
第46-2号（2023年6月発行） 電子版にて配信（個人・賛助会員）
3. 第56回総会（第7回社員総会）（議事録は機関誌または協会HPに掲載）

開催期日： 2022年10月14日（金）
開催場所： キッセイ文化ホール 大ホール（A会場）
4. 理事会・評議員会（議事録は機関誌または協会HPに掲載）
 - 1) 理事会 5回開催

第1回	開催期日： 2022年10月13日（木）（法人第6期の最終の理事会として開催）
	開催場所： Mウイング（中央公民館） 3F 3-B 視聴覚室
第2回	開催期日： 2022年10月14日（金）（法人第7期理事選出直後の臨時理事会として開催）
	開催場所： キッセイ文化ホール 大ホール（A会場）
第3回	開催期日： 2022年11月23日（水）（法人第7期第1回理事会として開催）
	開催場所： Webによるオンライン会議
第4回	開催期日： 2023年2月12日（日）（法人第7期第2回理事会として開催）
	開催場所： Webによるオンライン会議
第5回	開催期日： 2023年6月4日（日）（法人第7期第3回理事会として開催）
	開催場所： Webによるオンライン会議
 - 2) 理事会メール審議
実施せず
 - 3) 評議員会 1回開催（法人第6期最終の理事会として開催）

第1回	開催期日： 2022年10月13日（木）
	開催場所： Mウイング（中央公民館） 6F ホール

5. 定期学術集会の開催

第56回日本実験動物技術者協会総会

会期：2022年10月13日（木）～15日（土）

会場：キッセイ文化ホール

会長：江藤 智生（（公財）実験動物中央研究所）

6. 第56回総会（松本）において以下の方々を表彰した。

1) 第41回 研究奨励賞（1名）

応募無し

2) 第28回 実験動物技術功労賞

高倉 彰 会員（（公財）実験動物中央研究所）

3) 第21回 顕彰（顕彰第18号）（1名）

上條信一 会員 第18号顕彰（関東支部）

4) 第13回 実験動物福祉奨励賞

演題名：大規模災害時における実験動物の寒天給水法の検討

発表者名：○安野 航¹、高橋智輝¹、若井 淳^{1, 2}

所属：¹岩手医科大学医歯薬総合研究所 動物研究センター、²岩手医科大学医歯薬総合研究所 実験動物医学研究部門

5) 第25回業界アワード（各関連団体の表彰）

①日本実験動物協同組合賞（理事長：高木博隆）

該当無し

②日本実験動物飼料協会賞（会長：齋藤敏樹）

該当無し

③日本実験動物器材協議会賞（会長：小原喜代三）

演題名：上層階に位置する実験動物施設の地震対策について

発表者名：○高橋まみ、栗崎政希、小島修樹、矢吹侑也、伊藤美智代、伊藤椋大、庄司友美、水本美穂子、中村 晃、川村俊介

所属：東北医科薬科大学実験動物センター

7. 本部共催講演会および講習会を以下の通り行った。

第424回本部共催講演会「実験動物の感染症と検査および微生物クリーニング」

期日：2022年11月18日～19日、講師：林元展人先生（（公財）実験動物中央研究所）、保田昌彦先生（（公財）実験動物中央研究所）、石田智子先生（（公財）実験動物中央研究所）、江藤智生先生（（公財）実験動物中央研究所）

開催支部：関東支部、参加者：開催支部：関東支部、参加者：会員4名、非会員7名

第430回本部共催講演会「動物実験基本手技 実技講習会」

期日：2023年7月20日～22日、講師：根津義和先生（第一三共株式会社）、志津野博先生（ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社）、平野貢先生（わかもと製薬株式会社）、新田牧希江先生（ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社）西中栄子先生（実験動物中央研究所）、高橋秀幸先生（国立国際医療研究センター）

開催支部：関東支部、参加者：一般会員7名、協賛/賛助会員5名、非会員16名、招待5名

8. 関連学協会との連携

1) (公社) 日本実験動物学会 (JALAS)

今後の共催計画等について話し合いの場を設けた。

・2023年7月19日 (Zoom Web 面談)、参加者：中野、三好 (JALAS 理事長)

・2023年8月2日 (Zoom Web 面談)、参加者：中野、廣江、長尾 (JALAS)

2) 7都市情報懇談会 2023年1月26日 参加者：中野

3) ICLAS モニタリングセンター運営委員会出席 2023年4月13日、参加者：中野、丸山

4) 第12回動物実験関連団体円卓会議参加 2023年5月18日、参加者：中野

5) (公社) 日本実験動物協会

- ・LABIO21 No. 89 への新任挨拶 投稿
 - ・2023年6月14日 理事会出席（中野）
- 6) 第49回（令和5年度）国立大学法人動物実験施設協議会総会懇談会 「施設長・教員・事務職員懇談会」講演（中野）
 タイトル：（一社）日本実験動物技術者協会の活動について
- 7) JCLAM（日本実験動物医学専門医協会）Webセミナー
 ・2023年6月23日 第10回JCLAM Webセミナー 講演協力
 タイトル：霊長類実験に携わる実験者と獣医師の連携（池田）
- 8) 静岡実験動物研究会 令和5年度夏期企画 シンポジウム（講演）（中野）
 ・2023年7月14日
 場 所：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」
 テーマ：動物実験技術者の共感と連携 ～みんなが元気に働くために！お互いをするところからはじめよう！～
 タイトル：その作業をScience（サイエンス）にしてみよう！
 —動物実験は飼育現場からすでに始まっている、という件—
- 9) 日本実験動物協会定時総会出席 2023年6月14日 参加者：中野
9. 第58回日本実験動物技術者協会総会の主管支部および大会長を選定した。
 主管支部：九州支部
 大会長：中村 直子（熊本大学）
 会 期：2024年10月10日（木）～10月12日（土）
 会 場：北九州国際会議場（北九州市）
10. 第57回大会（福島）における表彰および顕彰について以下の方々の選考を行った。
- 1) 第42回 研究奨励賞（1名）
 応募無し
 - 2) 第29回 実験動物技術功労賞（1名）
 一戸一晃 元会員（元公益財団法人環境科学技術研究所）
 - 3) 第22回 顕彰（1名）
 片平清昭 会員 第19号顕彰（東北支部）
 - 4) 第14回 実験動物福祉奨励賞（2名）
 演 題 名：マウスの3種混合麻酔薬におけるメドミジンの用量と体温低下作用
 発表者名：田代瑞穂、藤平篤志
 所 属：日本獣医生命科学大学
 - 5) 第26回業界アワード（各関連団体の表彰）
 - ①日本実験動物協同組合賞（高木博隆 理事長）
 該当なし
 - ②日本実験動物飼料協会賞（土倉大輔 会長）
 演 題 名：固形飼料給餌を介した合成プロゲステロン投与による妊娠マウス分娩時期の調節
 発表者名：外丸祐介¹、神崎道文²、江藤智生³
 所 属：¹広島大学自然科学研究支援開発センター、²広島大学技術センター、³公益財団法人実験動物中央研究所
 - ③日本実験動物器材協議会賞（小原喜代三 会長）
 該当なし
11. 協会の部局・委員会活動
 以下の部局・委員会を編成し活動を行った。
- 1) 事務局（事務局長：坂本雄二）
 - ・社員総会の総会議事（案）書を作成した。
 - ・社員総会ならびに理事会の議事録を作成した。
 - ・機関誌及び広報誌等の事務連絡に関する文書を作成した。

- ・現行規定類の内容の精査を行った。
- 2) 財務部（財務部長：竹原 広）
- ・支部から提出された決算を本部決算と合算し、協会全体の決算として集計した。
 - ・予算案を作成した。
 - ・支部口座開設に調査協力した。
 - ・予算外支出の検討のため、支出の現状把握方法を模索した。
 - ・本部・支部企画への財務支援を検討した。
- 3) 企画調整部（企画調整部長：野田義博）
- ・関連学協会との連携調整を企画、提案した。
 - ① 第 57 回日本実験動物技術者協会総会の本部共催シンポジウムを企画し、2024 年 5 月 31 日に共催シンポジウム「動物福祉を探究する新たな視点 ～こんなところにも動物福祉～」の開催が決まった。
 - ② 科学技術振興機構(JST)サイエンスアゴラ 2023（科学と社会をつなぐ広場の総称；科学技術振興機構主催）への出展を企画・応募し、“子供たちに飼育管理の現場のことを正しく知ってもらうための「実験動物のおうちづくり体験！」の企画が採択された。
 - ・広報の電子版(PDF)を協会 HP にて配信を開始し、第 46-1 号(2023 年 1 月)ならびに第 46-2 号(2023 年 6 月)を発行した。
- 4) 情報部（情報部長：日野千紘）
- ・協会本部に Zoom を導入した。
 - ・協会本部 HP のリニューアルおよびサーバーを移行し、管理運用を開始した。
 - ・新しい ML の管理運用を開始した。
 - ・情報共有ツールの試運転を行った。
 - ・事務局と連携し本部共催講習会等の事業の受付、承認および報告の確認作業を行った。
- 5) 編集部（編集部長：丸山滋）
- ・機関誌の編集：57-2 号および 58-1 号（2022 年 12 月 30 日および 2023 年 6 月 30 日発行）
 - ・投稿論文の審査：6 件（内 1 件は前年度からの継続審査）
 - ・機関誌 58-1 号より電子化および一般公開とした。
 - ・上記に伴い、論文投稿要綱を改訂した。
 - ・英文投稿要綱を構築、英語論文の受付を開始した。
- 6) 実験動物福祉部（実験動物福祉部長：若松真矢）
- ・実験動物関連諸団体ならびに実技協本部・各支部と協調・連携しながら、「実験動物福祉の充実」・「動物実験倫理的適正化」に向けた取り組みを推進した。
 - ① 日本実験動物医学専門医協会（JCLAM）より実験動物技術者協会に JCLAM Web セミナー（2023 年 6 月 23 日（金）16:00 ～ 17:00）の講演依頼をうけ、実験動物福祉部より実験動物技術者協会会員の株式会社新日本科学 池田大地先生に依頼し、「霊長類実験に携わる実験者と獣医師の連携」をご発表いただいた。
 - ② 実技協北海道支部第 65 回特別講演会において、動物福祉に関するテーマ対して、実験動物福祉部 横山氏が協力し、実技協 理事長 中野先生に「アニマルウェルフェアを科学に」、実験動物福祉部 部局長の若松氏に「AAALAC 認証 CRO である SNBL における動物福祉の取組み」の講演を企画・開催した。
 - ・法令・科学的・倫理的観点から適正な実験動物の飼養と動物実験の実施に関する啓発を行った。
 - ① 動物福祉を啓発するための動物福祉ポスター作製の検討を実施した。
 - ・実験動物福祉に関する国内外の情報収集および提供を行った。
 - ・実験動物福祉に関する調査・研究を支援した。
 - ・実験動物福祉に関する啓発、推進のため、会員の情報交換および交流の場の提供などを行った。
 - ・全国総会における「Well-being ひろば」の開催方法を検討した。次期全国総会（福島）では、会員の方からのアンケート調査に基づく新たな企画を立案した。
 - ① 全国総会（松本）にて「Well-being ひろば」の開催及びなんでもアンケートを実施し、アンケート結果を次期全国総会（福島）にてポスター発表にて報告することを検討した。
 - ② 次期全国総会（福島）にて、1. スマホでなんでもアンケート、2. 非対面でいつでも参加できる情報共有スペース（パネル展示方式）、3. 数人で話ができるイベント（会期中 3 回開催）、4. Well-being ひろば（個別相談）を検討し、開催案内のポスターを作成した。

- ・実技協における動物実験計画書の審査システム構築（実験計画書・報告書・自己点検表の案作成含む）および動物実験委員会の設置のための検討を行った。
- ・実働を通じた多様性のある次世代の部局員の人材育成を行った。
 - ① 実験動物福祉部内にて計6回のオンライン勉強会を実施した。
- ・実験動物福祉奨励賞（名称および選考方法等）について福祉部内で再検討、現執行部に提案し、規定を変更した。

7) 人材育成・教育研修部（人材育成・教育研修部長：橋本直子）

- ・実験動物技術に関する他団体とのイベント企画に向けてニーズ調査と企画をおこなった。
 - ① 東北・奥羽支部への企画ニーズ調査
- ・他本部他部局とのイベント立案、企画をおこなった。
 - ① 福島大会における編集部との共催企画
- ・協会を担う人材育成に関する情報収集のため、支部単位のヒアリングをおこなった。
 - ① 東海北陸・九州支部に支部運営に関するヒアリングを実施した。

12. 各支部において以下の講演会、技術講習会、支部総会、役員会、定期刊行物発行等の支部事業が行われた。

（詳細は各支部のHPまたは広報を参照）

1) 北海道支部（支部長：小玉雄介）

①講演会・講習会

- ・2級試験対策用実技講習会（実験動物（小動物）の取り扱い等について） 講師：室田宏之
期日：2022年11月5日 場所：北海道大学遺伝子病制御研究所
- ・勉強会（ビニールアイソレーター飼育装置の概要・組立作製・操作体験） 講師：室田宏之
期日：2022年11月19日 場所：北海道大学遺伝子病制御研究所
- ・勉強会（テーマ：『あなたの施設への入室方法』）
期日：2023年2月17日 場所：オンライン開催
- ・第65回特別講演会（テーマ：『アニマルウェルフェアを科学に。』） 講師：若松真矢（オンライン）、小木曾昇、中野洋子
期日：2023年7月1日 場所：札幌医科大学教育研究棟 I D301 南第2講義室

②支部総会

- ・第48回支部総会
期日：2023年7月1日 場所：札幌医科大学教育研究棟 I D301 南第2講義室

③役員会

- ・第1回役員会
期日：2022年12月14日 場所：オンライン開催
- ・第2回役員会
期日：2023年1月25日 場所：オンライン開催
- ・第3回役員会
期日：2023年4月27日 場所：オンライン開催

④その他

- ・北海道支部会誌46号の発行
発行日：2023年5月1日
発行部数：20部（特別会員、寄贈、他支部用）個人会員web配布

2) 奥羽支部（支部長：高橋智輝）

①講演会・講習会

なし

②支部総会

- ・令和4年度支部総会
期日：2023年9月紙面開催

③役員会

- ・第1回役員会

期日：2023年9月、メール審議

3) 東北支部（支部長：石橋 崇）

①講演会・講習会

- ・第2回ワークショップ（テーマ：発育不良のマウスに対するケアの方法について）

特別講演 第427回本部共催

講師：大竹誠一 先生

企業PRセッション

講師：松本幸大 先生

期日：2022年12月17日、場所：Web開催、参加者：会員37名

- ・第特別講演会 第434回本部共催

講師：森本素子先生、

期日：2023年8月26日、場所：東北大学医学部1号館第1講義室

②支部総会

- ・令和4年度支部総会

期日：2023年8月26日、場所：東北大学医学部1号館第1講義室、参加者26名、委任状22名

③役員会

- ・第1回役員会

期日：2023年4月15日、場所：Web開催、参加者：15名

- ・第2回役員会

期日：2023年7月22日、場所：Web開催、参加者：13名

4) 関東支部（支部長：江藤智生）

①講演会・講習会

- ・微生物統御実技講習会 第424回本部共催

講師：林元展人、保田昌彦、石田智子、江藤智生

期日：2022年11月18-19日、場所：(公財) 実験動物中央研究所（神奈川県川崎市）、参加者：会員4名、非会員7名

- ・第48回関東支部懇話会（ZOOMによるオンライン開催）

期日：2023年2月25日、場所：株式会社夏目製作所（東京都文京区）

参加者：会員66名、非会員43名、学生1名、名誉会員・顧問1名、支部協賛会員4名、本部賛助会員9名

- ・実験動物基本手技実験動物実技講習会 第430回本部共催

講師：根津義和、志津野博、平野貢、新田牧希江、西中栄子、高橋秀幸

期日：2023年7月20-22日、場所：日本獣医生命科学大学

参加者：一般会員7名、協賛/賛助会員5名、非会員16名、招待5名

②支部総会

- ・令和4年度関東支部総会

期日：2023年2月25日（新型コロナウイルスの影響により、書面決議形式にて実施）

場所：株式会社夏目製作所（東京都文京区）、参加者14名、委任状174名、議決権行使9名、計197名

③役員会

- ・令和4年度 第4回幹事会（ZOOMによるオンライン会議）

期日：2022年10月1日、主会場：株式会社夏目製作所（東京都文京区）参加者12名

- ・令和4年度 第5回幹事会（ZOOMによるオンライン会議）

期日：2022年12月3日、主会場：株式会社夏目製作所（東京都文京区）参加者11名

- ・令和4年度 第6回幹事会（ZOOMによるオンライン会議）

期日：2023年2月4日、主会場：株式会社夏目製作所（東京都文京区）参加者11名

- ・令和5年度 第1回幹事会（ZOOMによるオンライン会議）

期日：2023年4月8日、主会場：株式会社夏目製作所（東京都文京区）参加者10名

・令和5年度 第2回幹事会（ZOOMによるオンライン会議）

期日：2023年6月3日、主会場：株式会社夏目製作所（東京都文京区）参加者10名

・令和5年度 第3回幹事会（ZOOMによるオンライン会議）

期日：2023年8月5日、主会場：株式会社夏目製作所（東京都文京区）参加者9名

④その他

・関東支部会報の発行

第202号 発行日：2022年10月3日

第203号 発行日：2023年1月10日

第204号 発行日：2023年4月3日

第205号 発行日：2023年7月3日

・事務局・総務による関東支部事務運営をおこなった。（通年）

・関東支部ホームページ・メーリングリスト運営をおこなった。（通年）

・動物実験委員会による動物実験の審査・指導をおこなった。（動物実験前中後）

5) 東海北陸支部（支部長：廣江猛）

①講演会・講習会

・令和4年度 実験動物実技講習会（2級試験対策）

期日：2022年11月5日（土）、場所：藤田医科大学 大学1号館 会議室および実習室（豊明市）

参加者：4名

・第18回技術交流会 第428回本部共催

テーマ「発生工学について知ろう！」

期日：2023年2月11日（土）、場所：Zoomによるオンライン開催

参加者：82名

・第9回春期大会 第429回本部共催

期日：2023年4月22日（土）、場所：自然科学研究機構生理学研究所 1階大会議室（岡崎市）

参加者：30名

・実験動物と動物実験 基本的動物実験手技（第16回）

期日：2023年7月29日（土）～30日（日）、場所：藤田医科大学 大学1号館 会議室（講義はハイブリッド開催）および

実習室（豊明市）

参加者：16名

②支部総会

・令和4年度第9回支部総会

期日：2023年4月22日（土）、場所：自然科学研究機構生理学研究所 1階大会議室

参加者：22名、委任状30名 計52名

③役員会

・令和4年度第2回役員会

期日：2022年11月28日（月）、Zoomによるオンライン開催、参加者14名

・令和4年度第3回役員会

期日：2023年1月11日（水）、Zoomによるオンライン開催、参加者15名

・令和4年度第4回役員会

期日：2023年3月16日（水）、Zoomによるオンライン開催、参加者16名

④その他

・東海北陸支部会報の発行

第21号 2022年8月

第22号 2023年3月

6) 関西支部（支部長：三上崇徳）

①講演会・講習会

- ・関西実験動物研究会・日本実験動物技術者協会関西支部合同大会
期日：2022年9月9日、場所：オンライン、参加者：57名
- ・2022年度ウサギ・モルモット上級講習会
期日：2022年10月18日～11月25日予定、場所：オンライン 利用者：82名
- ・オンラインでマウス・ラット上級技術プチ講習会（座学）
期日：2022年11月20日、場所：オンライン 利用者：62名
- ・2022年関西支部春季大会
テーマ：「動物福祉の延長線上～当たり前を変えたひとつの出会いから考える～」
期日：2023年5月13日、場所：オンライン、参加者：137名
- ・第78回実験動物学習会
期日：2023年7月1日～2日、場所：神戸大学、参加者：14名
- ・第13回マウス・ラット上級技術講習会
期日：2023年7月29日～30日、場所：岡山大学、参加者16名

②支部総会

- ・2022年度関西支部総会
期日：2022年11月29日、書面決議
総会参加者：委任状44名 議決権行使書37名 合計81名

③役員会

- ・2022年度第1回幹事会
期日：2022年12月10日、場所：新長田文化センター、参加者：21名
- ・2022年度臨時会議
期日：2023年4月4日、場所：オンライン、参加者：25名
- ・2022年度第2回幹事会
期日：2023年8月26日、場所：神戸中央区文化センター、参加者：19名

④その他

- ・関西支部会報の発行（メーリングリストで全支部会員へ配信すると共に、支部HPへ掲載）
発行日：2022年9月12日（215号）
2023年3月6日（216号）
- ・オリジナル教材の販売（2021年9月1日～2022年8月31日）
マウス・ラットの基本的な実験手技DVD 7枚
オリジナルパウチ教材 27枚

7) 九州支部（支部長：中村直子）

①講演会・講習会

- ・九州地区技術研修会
講師：浦野 徹、越本知大、松本珠美、野口和浩、進村美穂、島津伸也、若松真矢、竹之上翔太、中村直子
期日：2022年9月10・11日、開催形式：熊本保健科学大学（熊本市）にて現地開催、
参加者：会員4名、非会員9名、学生2名
- ・第42回日本実験動物技術者協会九州支部研究発表会（九州支部技術奨励賞1名選定・表彰）
期日：2022年11月12・13日、場所：福岡大学メディカルホール（福岡市）とオンラインのハイブリッド開催
参加者：現地参加76名、オンライン参加84名

②支部総会

- ・第45回支部総会
期日：2022年10月28日～30日、開催形式：書面決議（Google formを使用）
参加者：委任状67名、議決権行使10名、否0名 計77名

③役員会

- ・第1回役員会

期日：2022年9月6日、場所：Web会議、参加者：13名

・第2回役員会

期日：2022年11月11日、場所：福岡大学、参加者：13名

・第3回役員会

期日：2023年2月11日、場所：Web会議、参加者：11名

・第4回役員会

期日：2023年4月19日、場所：Web会議、参加者：10名

・第5回役員会

期日：2023年5月29日、場所：Web会議、参加者：12名

・第6回役員会

期日：2023年8月22日、場所：Web会議、参加者：11名

④九州支部 第1回勉強会

開催期日：2023年6月17日(土) 13:00～16:50、開催形式：Web開催

教育講演(本部共催)1題、特別講演3題

参加者 計87名

実技協個人会員・九州支部賛助会員：九州支部 38名、関西支部 13名、東海北陸支部 6名、関東支部 14名、
奥羽支部 2名、北海道支部 5名

非会員：実験動物技術者資格認定校関係者 3名、講師関係者 6名

⑤その他

・九州支部ニュースの発行 発行日：2023年2月、2023年8月31日

・九州支部会報の発行 発行日：2023年5月29日

【第2号議案】

令和4年度（法人第7期）決算報告ならびに監査報告

(2022年9月1日～2023年8月31日)

貸借対照比較表

(単位:円)

科目	本部			協会合計		
	2023年8月期	2022年8月期	増減	2023年8月期	2022年8月期	増減
I. 資産の部						
1. 流動資産の部						
(1) 現金	80,069	47,350	32,719	498,350	301,497	196,853
(2) 普通預金	3,927,013	1,541,457	2,385,556	7,247,880	3,838,685	3,409,195
(3) 郵便貯金	0	0	0	17,533,005	15,322,109	2,210,896
(4) 振替貯金	7,883,487	8,816,535	△ 933,048	11,019,934	14,007,341	△ 2,987,407
(5) 定期預金	0	0	0	3,600,000	500,000	3,100,000
(6) 未収会費	0	0	0	0	0	0
(7) 未収入金	0	2,089	△ 2,089	0	2,089	△ 2,089
(8) 仮払金	500,000	500,000	0	821,000	500,000	321,000
(9) 本部より未収入金	0	0	0	1,860,980	1,875,701	185,279
【流動資産合計】	12,390,569	10,907,431	1,483,138	42,581,149	36,147,422	6,433,727
2. 固定資産の部						
(1) その他固定資産						
【固定資産合計】	382,360	505,120	△ 122,760	382,360	505,120	△ 122,760
【資産の部 合計】	12,772,929	11,412,551	1,360,378	42,963,509	36,652,542	6,310,967
II. 負債の部						
1. 流動負債の部						
(1) 未払金	5,775	500	5,275	5,775	10,500	△ 4,725
(2) 支部へ未払金	1,860,980	1,675,701	185,279	1,860,980	1,875,701	185,279
(3) 仮受金	3,500	3,500	0	6,153,872	4,536,728	1,617,144
(4) 前受会費	2,310,000	2,694,000	△ 384,000	2,310,000	2,694,000	△ 384,000
(5) 預り金(源泉所得税)	0	0	0	0	0	0
【流動負債合計】	4,180,255	4,373,701	△ 193,446	10,330,627	8,916,929	1,413,698
【負債の部 合計】	4,180,255	4,373,701	△ 193,446	10,330,627	8,916,929	1,413,698
III. 正味財産の部						
1. 一般正味財産	8,592,674	7,038,850	1,553,824	32,632,882	27,735,613	4,897,269
正味財産合計	8,592,674	7,038,850	1,553,824	32,632,882	27,735,613	4,897,269
【負債・正味財産 合計】	12,772,929	11,412,551	1,360,378	42,963,509	36,652,542	6,310,967

正味財産増減比較表

(単位:円)

科目	本部			協会合計		
	2023年8月期	2022年8月期	増減	2023年8月期	2022年8月期	増減
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益(収入)						
受取入会金収入	100,000	94,000	6,000	100,000	94,000	6,000
受取会費収入	5,482,000	5,327,700	154,300	8,618,000	7,906,500	711,500
一般事業収入	1,142,239	966,173	176,066	4,161,107	3,669,479	491,628
協会事業費収入	0	0	0	13,415,692	2,780,951	10,634,741
その他収入	2,233	3,089	△ 856	1,540,027	1,870,854	△ 330,827
本部・支部間助成金	0	0	0	250,130	131,376	118,754
【経常収益計】	6,726,472	6,390,962	335,510	28,084,956	16,453,160	11,631,796
(2) 経常費用(支出)						
事業費	1,681,972	2,501,036	△ 819,064	18,167,842	9,654,585	8,513,257
管理費	3,490,676	3,880,710	△ 390,034	5,019,845	6,376,958	△ 1,357,113
【経常費用計】	5,172,648	6,381,746	△ 1,209,098	23,187,687	16,031,543	7,156,144
当期経常増減額	1,553,824	9,216	1,544,608	4,897,269	421,617	4,475,652
II 正味財産増減額の部						
当期正味財産増減額	1,553,824	9,216	1,544,608	4,897,269	421,617	4,475,652
正味財産期首残高	7,038,850	7,029,634	9,216	27,735,613	27,313,996	421,617
III 正味財産期末残高	8,592,674	7,038,850	1,553,824	32,632,882	27,735,613	4,897,269

【第2号議案】

令和4年度（法人第7期）決算報告ならびに監査報告

(2022年9月1日～2023年8月31日)

貸借対照表

2023年8月31日現在

2023年8月期

(単位:円)

科目	本部	<56回松本 /R4.10(本部)>	<57回福島 /R5.10(奥羽東北)>	支 部							支部合計	合計
				北海道①	奥羽②	東北③	関東④	東海北陸⑤	関西⑥	九州⑦		
I. 資産の部												
1. 流動資産の部												
(1) 現金	80,069	0	33,505	21,747	4,988	115	98,785	53,644	205,497	0	384,776	498,350
(2) 普通預金	3,927,013	0	3,320,867	0	0	0	0	0	0	0	0	7,247,880
1) 三井住友銀行	3,927,013	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,927,013
2) その他銀行	0	0	3,320,867	0	0	0	0	0	0	0	0	3,320,867
(3) 郵便貯金	0	0	2,796,000	1,122,904	411,458	457,621	1,501,916	3,368,293	4,084,883	3,789,930	14,737,005	17,533,005
1) ゆうちょ銀行①	0	0	2,796,000	1,122,904	411,458	457,621	1,501,916	3,368,293	3,135,736	3,298,414	13,296,342	16,092,342
2) ゆうちょ銀行②	0	0	0	0	0	0	0	0	199,813	491,516	691,329	691,329
3) ゆうちょ銀行③	0	0	0	0	0	0	0	0	749,334	0	749,334	749,334
(4) 振替貯金	7,883,487	0	0	0	0	0	0	1,515,031	1,621,416	0	3,136,447	11,019,934
1) 振替貯金	7,883,487	0	0	0	0	0	0	1,515,031	1,621,416	0	3,136,447	11,019,934
(5) 定期預金	0	0	0	0	0	0	3,600,000	0	0	0	3,600,000	3,600,000
1) ゆうちょ銀行	0	0	0	0	0	0	3,600,000	0	0	0	3,600,000	3,600,000
(6) 未収会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(7) 未収入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(8) 仮払金	500,000	0	0	0	0	21,000	0	0	0	300,000	321,000	821,000
(9) 本部より未収入金	0	0	0	136,178	76,000	142,578	635,791	202,054	403,969	264,410	1,860,980	1,860,980
【流動資産合計】	12,390,569	0	6,150,372	1,280,829	492,446	621,314	5,836,492	5,139,022	6,315,765	4,354,340	24,040,208	42,581,149
2. 固定資産の部												
(1) その他固定資産												
1) 器具備品												0
2) ソフトウェア	382,360	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	382,360
その他固定資産合計	382,360	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	382,360
【固定資産合計】	382,360	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	382,360
【資産の部 合計】	12,772,929	0	6,150,372	1,280,829	492,446	621,314	5,836,492	5,139,022	6,315,765	4,354,340	24,040,208	42,963,509
II. 負債の部												
1. 流動負債の部												
(1) 未払金	5,775	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,775
(2) 支部へ未払金	1,860,980	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,860,980
(3) 仮受金	3,500	0	6,150,372	0	0	0	0	0	0	0	0	6,153,872
(4) 前受会費	2,310,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,310,000
(5) 預り金(源泉所得税)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【流動負債合計】	4,180,255	0	6,150,372	0	0	0	0	0	0	0	0	10,330,627
【負債の部 合計】	4,180,255	0	6,150,372	0	0	0	0	0	0	0	0	10,330,627
III. 正味財産の部												
1. 一般正味財産	8,592,674	0	0	1,280,829	492,446	621,314	5,836,492	5,139,022	6,315,765	4,354,340	24,040,208	32,632,882
正味財産合計	8,592,674	0	0	1,280,829	492,446	621,314	5,836,492	5,139,022	6,315,765	4,354,340	24,040,208	32,632,882
【負債・正味財産 合計】	12,772,929	0	6,150,372	1,280,829	492,446	621,314	5,836,492	5,139,022	6,315,765	4,354,340	24,040,208	42,963,509

<注記>

- ・ 本部ソフトウェア「総会出欠管理システム構築」にかかる減価償却費計上(12カ月分 94,600円)
- ・ 本部ソフトウェア「総会出欠管理システム追加構築費」にかかる減価償却費計上(12カ月分 28,160円)

【第2号議案】

令和4年度（法人第7期）決算報告ならびに監査報告

(2022年9月1日～2023年8月31日)

正味財産増減計算書(損益計算書)

第7期 2022年9月1日から2023年8月31日まで

2023年8月期

(単位:円)

科目	本部	<R6回松本/R4:10(本部)>	<R7回福島/R5:10(奥羽東北)>	支 部							支 部 合 計	合 計
				北海道①	奥羽②	東北③	関東④	東海北陸⑤	関西⑥	九州⑦		
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益(収入)												
1) 受取入金会収入												
① 入金会収入	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100,000
② その他収入												0
受取入金会収入計	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100,000
2) 受取会費収入												
① 正会員会費収入	3,472,000	0	0	88,000	76,000	108,000	620,000	174,000	438,000	232,000	1,736,000	5,208,000
② 賛助会費収入	2,010,000	0	0	0	0	0	0	0	0	480,000	480,000	2,490,000
③ その他収入	0	0	0	60,000	0	0	300,000	560,000	0	0	920,000	920,000
受取会費収入計	5,482,000	0	0	148,000	76,000	108,000	920,000	734,000	438,000	712,000	3,136,000	8,618,000
3) 一般事業収入												
① 講演会事業収入	0	0	0	9,000	0	0	1,924,000	272,418	678,000	0	2,883,418	2,883,418
② 会誌発行事業収入	1,142,239	0	0	50,000	0	0	0	0	0	0	50,000	1,192,239
③ 資料等販売収入	0	0	0	0	0	0	0	0	51,450	0	51,450	51,450
④ その他収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34,000	34,000	34,000
一般事業収入計	1,142,239	0	0	59,000	0	0	1,924,000	272,418	729,450	34,000	3,018,868	4,161,107
4) 総会事業収入												
① 総会関連収入	0	11,972,565	0	0	0	0	1,443,127	0	0	0	1,443,127	13,415,692
② その他収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総会事業収入計	0	11,972,565	0	0	0	0	1,443,127	0	0	0	1,443,127	13,415,692
5) その他収入												
① 受取寄附金等	0	0	0	0	0	0	1,500,000	0	21,740	0	1,521,740	1,521,740
② 受取利息等	33	0	0	11	3	7	20	26	34	35	136	169
③ その他収入	2,200	0	0	0	0	0	15,918	0	0	0	15,918	18,118
その他収入計	2,233	0	0	11	3	7	1,515,938	26	21,774	35	1,537,794	1,540,027
※ 本部・支部間助成金												
① 本部より共催費等収入	0	0	0	55,000	0	45,168	53,960	51,508	0	44,494	250,130	250,130
② 本支部間取引	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本部・支部間助成金計	0	0	0	55,000	0	45,168	53,960	51,508	0	44,494	250,130	250,130
【経常収益計】	6,726,472	11,972,565	0	262,011	76,003	153,175	5,857,025	1,057,952	1,189,224	790,529	9,385,919	28,084,956
(2) 経常費用(支出)												
1) 事業費												
① 講演会・講習会事業費	0	0	0	190,066	0	26,822	1,788,313	286,208	716,497	213,892	3,221,798	3,221,798
② 総会運営費(全国大会)	20,315	11,972,565	0	0	8,604	509,925	0	0	0	0	518,529	12,511,409
③ 会誌発行事業費	1,377,454	0	0	64,750	0	0	378,716	0	0	80,000	523,466	1,900,920
④ 表彰経費	34,073	0	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000	44,073	44,073
⑤ その他事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	239,512	239,512	239,512
⑥ 支部へ共催費等支出	250,130	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	250,130
事業費計	1,681,972	11,972,565	0	254,816	8,604	536,747	2,167,029	286,208	716,497	543,404	4,513,305	18,167,842
2) 管理費												
① 理事会等会議費	14,352	0	0	0	0	28,000	115,741	0	281,435	0	425,176	439,528
② 運搬及び通信運搬費	456,369	0	0	0	490	0	81,724	28,520	11,016	52,678	174,428	630,797
③ 事務用及び消耗品費	8,384	0	0	0	0	0	0	249,647	4,848	8,930	263,425	271,809
④ 印刷費	58,163	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58,163
⑤ 旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	92,500	0	92,500	92,500
⑥ 租税公課	87,357	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87,357
⑦ 交際費	22,970	0	0	0	0	0	0	23,910	0	5,218	29,128	52,098
⑧ 支払手数料	169,901	0	0	660	110	4,648	27,300	9,523	19,735	9,736	71,712	241,613
⑨ 支払報酬	66,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66,000
⑩ 業務委託費	2,484,420	0	0	0	0	0	375,100	0	0	0	375,100	2,859,520
⑪ 選挙管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑫ 販売教材作成費	0	0	0	0	0	0	29,695	0	3,700	0	33,395	33,395
⑬ 雑費	0	0	0	0	0	0	8,000	0	56,305	0	64,305	64,305
3) 減価償却費	122,760	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	122,760
管理費計	3,490,676	0	0	660	600	32,648	637,560	311,600	469,539	76,562	1,529,169	5,019,845
【経常費用計】	5,172,648	11,972,565	0	255,476	9,204	569,395	2,804,589	597,808	1,186,036	619,966	6,042,474	23,187,687
当期経常増減額	1,553,824	0	0	6,535	66,799	△ 416,220	3,052,436	460,144	3,188	170,563	3,343,445	4,897,269
II 正味財産増減の部												
当期正味財産増減額	1,553,824	0	0	6,535	66,799	△ 416,220	3,052,436	460,144	3,188	170,563	3,343,445	4,897,269
正味財産期首残高	7,038,850	0	0	1,274,294	425,647	1,037,534	2,784,056	4,678,878	6,312,577	4,183,777	20,696,763	27,735,613
III 正味財産期末残高	8,592,674	0	0	1,280,829	492,446	621,314	5,836,492	5,139,022	6,315,765	4,354,340	24,040,208	32,632,882

【第2号議案】

令和4年度（法人第7期）決算報告ならびに監査報告

(2022年9月1日～2023年8月31日)

令和4年度（法人第7期）監査報告

2023年8月期（令和4年度）の会計監査を会計簿より監査した結果、正確かつ正しく運用されていることを認めます。

2023 年 9 月 30 日

志津野 博 

後藤 一雄 

【第2号議案】

令和4年度（法人第7期）決算報告ならびに監査報告

(2022年9月1日～2023年8月31日)

第56回松本大会の決算（監査報告含む）

第56回日本実験動物技術者協会総会（松本大会）会計報告

(単位:円)

【収入】				
科目	予算額	決算額	増減	備考
1. 大会助成金および協賛金	5,600,000	5,349,880	△250,140	
1) 本部助成金	500,000	500,000	0	本部より
2) 支部助成金	1,500,000	1,500,000	0	関東支部より
3) 協賛金	2,100,000	1,230,000	△870,000	大会協賛32社(30,000円/41口 等)
4) その他	1,500,000	2,119,880	619,880	補助金(長野県山岳高原観光課、松本市)
2. 大会参加費収入	3,825,000	2,595,000	△1,230,000	
1) 会員-事前	1,400,000	1,064,000	△336,000	7,000円/152名
会員-当日	450,000	378,000	△72,000	9,000円/42名
2) 非会員-事前	900,000	468,000	△432,000	9,000円/52名(海外2名含む)
非会員-当日	990,000	649,000	△341,000	11,000円/59名
3) 会員-学生-事前	0	4,000	4,000	4,000円/1名
会員-学生-当日	0	0	0	5,000円/0名
4) 非会員-学生-事前	50,000	24,000	△26,000	6,000円/4名
非会員-学生-当日	35,000	8,000	△27,000	8,000円/1名
5) 講師・企画招待者	0	0	0	無料/183名(協賛企業、機器展示出展会社、含む)
3. 大会企画収入	3,500,000	3,071,886	△428,114	
1) 機器展示ブース	1,800,000	1,507,816	△292,184	50コマ 器材協議会より
2) 広告掲載費	1,000,000	1,040,000	40,000	25社 20,000×9 30,000×8 70,000×6 100,000×2
3) ランチオンセミナー	500,000	310,000	△190,000	3社
4) ホスピタリティルーム	0	150,000	150,000	1社
5) パナー広告	200,000	0	△200,000	
6) その他	0	63,870	63,870	書店出店料等
4. 懇親会参加費収入	1,180,000	948,000	△214,000	
1) 事前	600,000	618,000	18,000	6,000円/103名
2) 当日	560,000	328,000	△232,000	8,000円/41名
3) 講師・関係者等招待	0	0	0	無料/40名
5. その他収入	10,000	10,019	19	
1) 要旨集販売	10,000	8,000	△2,000	2,000円/4件、電子版
2) 受取利息・送料等	0	19	19	
3) その他	0	2,000	2,000	
収入合計	14,095,000	11,972,565	△2,122,435	

(単位:円)

【支出】				
科目	予算額	決算額	増減	備考
1. 講師費	1,580,000	550,667	△1,029,333	
1) 講師謝金等	500,000	335,000	△165,000	23名
2) 講師旅費	1,000,000	180,968	△819,012	12名
3) 源泉取得税	60,000	34,679	△25,321	
2. 印刷費	700,000	985,049	285,049	
1) プログラム	0	0	0	
2) 講演要旨集	0	330,703	330,703	編集費用(英文訳 含む)
3) 総会議案書	100,000	29,876	△70,124	本部と折半
4) その他	600,000	624,470	24,470	ポスター、タイムスケジュール、参加証など
3. 会場運営費	3,450,000	3,067,826	△382,174	
1) 会場費	2,000,000	2,084,180	84,180	キッセイ文化ホール、Mウィング
2) 会場設営費	600,000	510,088	△89,912	スクリーン、レンタル品等 小田原企画様
3) 運営協力費	300,000	340,642	40,642	当日弁当代、交通費、等
4) 記念品費	500,000	132,916	△367,084	デビュー賞・副賞・記念品等費用
5) その他	50,000	0	△50,000	
4. 事務費	2,400,000	2,085,992	△314,008	
1) 事務費	1,800,000	2,028,094	228,094	資料作成費用等
2) 通信費	500,000	39,788	△460,212	郵送費用等
3) 雑費	100,000	18,110	△81,890	振込手数料(海外送金手数料 含む)、返金手数料、等
5. 会議費	1,000,000	302,804	△697,196	
1) 会議費	1,000,000	302,804	△697,196	実行委員会・会場下見・打合せ等
2) その他	0	0	0	
6. 業務委託費	550,000	699,600	149,600	
1) ホームページ作成費	300,000	330,000	30,000	AD3
2) 演題投稿システム等運営費	250,000	369,600	119,600	AD3
3) その他	0	0	0	
7. 懇親会費	1,680,000	837,500	△822,500	
1) 懇親会費	1,160,000	837,500	△322,500	会場費・料理代等
2) その他	500,000	0	△500,000	
8. 返済・寄附金	2,000,000	3,443,127	1,443,127	
1) 本部助成金返済	500,000	500,000	0	本部助成金返済
2) 支部助成金返済	1,500,000	1,500,000	0	支部助成金返済
3) 本部立替返済	0	0	0	
4) 本部支部寄附金	0	1,443,127	1,443,127	関東支部へ
9. その他	775,000	0	△775,000	
1) その他	775,000	0	△775,000	
支出合計	14,095,000	11,972,565	△2,122,435	

【第2号議案】

令和4年度（法人第7期）決算報告ならびに監査報告

(2022年9月1日～2023年8月31日)


第56回松本大会の決算（監査報告含む）


監 査 証 明 書

第56回 日本実験動物技術者協会総会、業務執行、並びに会計について
監査したところ、正確かつ適正であったことを証明いたします。

2023年 6月 5日

第56回 日本実験動物技術者協会総会

監 事 佐竹聖人 

監 事 川村直 

【第3号議案】

令和5年度役員を選任

令和4・5年度理事・監事について（任期：2022年10月総会日～2024年10月総会日）

役員名	氏名	所属
理事長	中野洋子	帝京科学大学
副理事長	野口和浩	熊本大学
副理事長	武智眞由美	島根大学
理事（事務局長）	坂本雄二	千寿製薬株式会社
理事（財務部長）	竹原 広	株式会社安評センター
理事（企画調整部長）	野田義博	東京都健康長寿医療センター
理事（情報部長）	日野千紘	旭川医科大学
理事（編集部長）	丸山 滋	ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社
理事（実験動物福祉部長）	若松真矢	株式会社新日本科学
理事（北海道支部長）	小玉雄介	三協ラボサービス株式会社
理事（奥羽支部長）	高橋智輝	岩手医科大学
理事（東北支部長）	石橋 崇	東北大学
理事（関東支部長）	江藤智生	公益財団法人実験動物中央研究所
理事（東海北陸支部長）	廣江 猛	生理学研究所
理事（関西支部長）	三上崇徳	川崎医科大学
理事（九州支部長）	中村直子	熊本大学
監事	後藤一雄	帝京大学
監事	志津野博	ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社

【第4号議案】

令和5年度（法人第8期）事業計画（案）

（2023年9月1日～2024年8月31日）

I. 事業方針 令和4年度事業の進捗状況と令和5年度に向けた方針について（理事長：中野洋子）

はじめに

昨年、会員のみなさまから一般社団法人日本実験動物技術者協会（実技協）理事長に選出いただいてから1年が経ちました。コロナ感染の取り扱いが第5類になったことで、以前よりも協会活動も行いやすくなりましたが、最近には新種の株も発見されるなど感染は継続しており、まだ全てがコロナ禍以前の状態に戻るには時間がかかる状況だと思われます。このような中にもかかわらず、会員のみなさまには協会活動へ積極的に参加いただくなど、ご理解とご協力をいただけており大変感謝しております。

会員のみなさまにお約束した活動方針に則り、一般社団法人としての本部・部局の活動を中心に協会体制の整備を進めております。今期も昨年お示しした下記の2本の柱を軸に、活動を展開していきます。また、この1年間に本部・支部にて検討・実践してきたことを基に、次なる具体的な計画も挙がってきております。併せて、ご確認をいただければと思います。

2本の柱：

1. 会員の声、支部の声を聴く機会を時々設けて話を伺い、組織運営として対処すべきこと、会員個々・各支部が参加の実感を得られるような“取りくみたいこと・取り組むべきこと”、を計画し実行すること
2. 技術者が社会において果たすべき役割を改めて認識し、魅力ある協会活動を通じてその責任を果たすことで、社会的な存在意義を認めてもらうこと

< 1. をすすめるために >

1) 協会としての活動運営の見直し

目指すこと

全ての支部で会員のみなさんが魅力ある質の高い活動に参加できるように、協会一体となった活動を進めます。協会としての取り組みを会員のみなさんにご理解いただけるよう、また、会員のみなさんからのご意見を協会運営に反映できるよう、情報の共有を積極的に行います。

行うこと

- ① 新たな協会HPの運用、メールマガジン発行の有効活用を更に推進し、協会活動の共有や学術的な情報の共有を進めます
- ② 総会をはじめ、効率化が可能となる事業内容について電子化対応の可能性を調査し、整備を更に進めます
- ③ 本部-支部双方向からの意見交換を行う会議を積極的に開催します
- ④ 2023年4月に行った会員アンケート結果を12月の広報にて共有します
- ⑤ 会員アンケートの結果を基に、求められる活動や連携すべき対象者を明確にします
- ⑥ 会員アンケートの結果を基に、組織として円滑な活動ができるように本部も交えた支部間協力体制を検討します
- ⑦ 会員アンケートの結果を基に、全国大会の開催方法について最適な方法についての議論を開始します
- ⑧ 一般社団法人の活動運営全般に関わる不整合の修正や適正化に向けたルールの見直しを併せて進めます

2) 協会の財政の適正化

目指すこと

全ての支部で会員のみなさんが魅力ある質の高い活動に参加できるように、協会として財政支援ができる体制の検討を進めます。また、財政の基盤となる会員獲得のための方策についてもみなさんと考えていきたいと思っております。

行うこと

- ① WEB会議システムの活用を推進し、会議費などの支出を抑えます
- ② WEB会議システムを活用し、新規会員獲得や参加費収入が見込めるイベントの開催などへの活用を検討します
- ③ 各支部の活動を妨げないような全体最適な財政の在り方の検討を進めます
- ④ 各支部が持つ人材、資材等の効率的な活用を協会全体で考えます
- ⑤ 協会の技術知である実技教育等に関するDVD等の物販の作成、販売を進めます

3) 協会を担う人材の育成

目指すこと

新設した人材育成・教育研修部を中心として、初めて実技協に参加される方（特に若い人）に「実験動物技術者」という仕事
・飼育管理や動物実験の現場において実験動物の福祉に大きく貢献していること

- ・実験動物の適正な維持管理が適正な動物実験を支えていること
- ・そこで得られた科学的なデータが社会の中で重要な役割を果たすこと

を理解していただき、自らの業務に自信を持ってもらえるような教育、啓発の機会を設けます。更に、協会内の各役割についても同様な取り組みを進めます。

行うこと

- ① 協会を担う新任の本部役員、支部役員を豊富な知識と経験を持つ役員がサポートするメンター制度などを活用した人材育成支援するために、現在の行われている活動ノウハウの調査を継続し、会員のみなさんと共有します
- ② 協会活動への多様なバックグラウンドを持つ会員が参加しやすい費用・方法の検討
 - ・本部-支部連携を基軸に、新たなバックグラウンドを持つ分野との連携を拡げ、新たな企画を提案します
- ③ 実験動物技術者のキャリア形成を見据えた研修や教育の継続

< 2. をすすめるために >

目指すこと

実技協の強みを会員が所属する組織や業界をはじめとし、社会にも発信する機会を作り、実験動物技術者の認知度を上げる取り組みを動物実験関係者と共に進めます。

行うこと

- ① 動物実験の適正使用と管理に対しイニシアティブをとって啓発活動を進めます
- ② サイエンスアゴラ（科学と社会をつなぐ広場の総称；科学技術振興機構主催）等への企画参加を積極的に行います。
 - また、継続してこのような企画の発信を検討していきます。
- ③ 動物実験を正しく伝えるため大小問わず連携可能な関連団体と話し合う機会を持ち、情報発信を進めます
 - ・日本実験動物学会（JALAS）京都大会にて、JALAS との共催シンポジウムを開催します
 - ・日本実験動物医学専門医協会（JCLAM）との連携をすすめ、共催企画の開催を検討します
 - ・他団体に向けて実技協の活動紹介を継続して行います
- ④ 他団体と連携する中で技術者の専門性や必要性の理解を広めます

会員のみなさまに活動が見えるように、また会員であることのメリットが少しでも感じられるように、企画形式などへの工夫も少しずつ進めております。支部間交流が活発化しており、支部単位の講習会にも全国の会員が参加できる仕組みも整ってきています。第8期の事業計画においては、これらの流れを更に拡げていけるよう進めて参りますので、会員のみなさんには、この仕組みを大いに活用いただきたいと思っております。また、新たな会員へのお声掛けへのご協力をいただくなど、小さなお力添えは大きな力となります。引き続き、実技協の活動にご支援をいただけますようお願いいたします。

II. 事業計画案

1. 定期学術集会・総会の開催

第57回日本実験動物技術者協会総会を下記の通り開催する。

主管支部： 奥羽支部・東北支部

大会長： 石橋 崇（東北大学）

会 期： 2023年10月19日（木）～21日（土）

会 場： コラッセふくしま（福島市）

2. 定期社員総会、理事会、評議員会の開催

定期社員総会（1回）、理事会（2回）、評議員会（1回）を予定する。

3. 定期刊行物の発行

機関誌「実験動物技術」「広報」を以下のように会員に配布する。機関誌、広報ともに電子版での発行となる。

実験動物技術 2023 Vol.58 No.2 2023年12月発行

実験動物技術 2024 Vol.59 No.1 2024年6月発行

広報 第47-1号 2024年1月発行

広報 第47-2号 2024年7月発行

4. 顕彰、表彰

第57回福島大会において以下の方々を表彰する。

- 1) 第42回 研究奨励賞 (1名)
応募無し
- 2) 第29回 実験動物技術功労賞 (1名)
一戸一晃 元会員 (元公益財団法人環境科学技術研究所)
- 3) 第22回 顕彰 (1名)
片平清昭 会員 第19号顕彰 (東北支部)
- 4) 第14回 実験動物福祉奨励賞 (2名)
演題名：マウスの3種混合麻酔薬におけるメドミジンの用量と体温低下作用
発表者名：田代瑞穂、藤平篤志
所属：日本獣医生命科学大学
- 5) 第26回業界アワード (各関連団体の表彰)
 - ①日本実験動物協同組合賞 (高木博隆 理事長)
該当なし
 - ②日本実験動物飼料協会賞 (土倉大輔 会長)
演題名：固形飼料給餌を介した合成プロゲステロン投与による妊娠マウス分娩時期の調節
発表者名：外丸祐介¹、神崎道文²、江藤智生³
所属：¹広島大学自然科学研究支援開発センター、²広島大学技術センター、³公益財団法人実験動物中央研究所
 - ③日本実験動物器材協議会賞 (小原喜代三 会長)
該当なし

5. 顕彰、表彰の受付と選考

以下の表彰・顕彰のために推薦受付と選考を行う。

- 1) 第43回 研究奨励賞 (2024年2月末日まで会員からの推薦を受け付けその後選考する)
- 2) 第30回 技術功労賞 (第58回総会主管支部が選考する)
- 3) 第23回 顕彰 (2024年2月末日までの会員からの推薦と理事会における推薦から選考する)
- 4) 第15回 実験動物福祉奨励賞 (第57回福島大会の一般演題から選考する。)
- 5) 第27回業界アワード (第57回福島大会における一般演題から各関連団体が選考する)

6. 第59回日本実験動物技術者協会総会の主管支部および大会長を選出する。

7. 部局・委員会活動

以下の部局および委員会を設置し、それぞれの目的に応じた活動をする。

- 1) 事務局 (事務局長：坂本雄二)
 - ・総務・庶務・財務的事務処理を各部局・委員会と連携して管理する。
 - ・会員名簿の管理に関する業務を行う。
 - ・各種会議を調整し議事録を作成する。
 - ・事務局が関わる規程類の改定において改定案を理事会に提示する。
- 2) 財務部 (財務部長：竹原 広)
 - ・支部から提出された決算を本部決算と合算し、協会全体の決算として集計する。
 - ・支部活動が保証できる予算案を検討する。
 - ・財務に関する規程・内規等を整備する。
 - ・収入増につながる企画・方策を提案する。
- 3) 企画調整部 (企画調整部長：野田義博)
 - ・関係団体との連携を図り、業界ならびに当協会の発展に寄与する。
 - ① サイエンスアゴラ 2023 (科学と社会をつなぐ広場の総称；科学技術振興機構主催) にて、企画：“子供たちに飼育管理の現場のことを正しく知ってもらうための「実験動物のおうちづくり体験！」”を2023年11月18～19日に開催する。

- ② 飼育管理業務等における実験動物医学専門医との連携を視野に、JCLAM との連携に向けての協議を継続する。
 - ・当協会全国大会当局、その他団体より依頼される共催企画を検討する。
 - ・広報の編集：47-1 号および47-2 号（2024 年1月および2024 年7月発行予定）
- 4) 編集部（編集部長：丸山 滋）
- ・機関誌の編集：58-2 号および59-1 号（2023 年12月30日および2024 年6月30日発行予定）
 - ・投稿論文の審査：随時
 - ・論文投稿数の増加を目的として協会総会での企画を立案・実施する。
 - ・英語論文投稿の洗練および対象拡大を検討する。
 - ・機関誌の価値を高めるための施策立案に向けて情報収集を行う。
- 5) 実験動物福祉部（実験動物福祉部長：若松真矢）
- ・実験動物関連諸団体ならびに実技協本部・各支部と協調・連携しながら、「実験動物福祉の充実」・「動物実験倫理的適正化」に向けた取り組みを推進する。
 - ・法令・科学的・倫理的観点から適正な実験動物の飼養と動物実験の実施に関する啓発を行う。
 - ① 動物福祉を啓発するための動物福祉ポスター作製・配布する。
 - ・実験動物福祉に関する国内外の情報収集および情報提供について検討を行う。
 - ・実験動物福祉に関する調査・研究を支援について検討する。
 - ① 第15回実験動物福祉奨励賞を全国総会（福島）の一般演題発表より選考・奨励する。
 - ・実験動物福祉に関する啓発、推進のため、会員の情報交換および交流の場の提供などを行う。
 - ① 全国総会（福島）を起点に、3か月1回程度のオンライン（Zoom）を用いた「Well-being ひろば」の開催を検討する。
 - ・全国総会（福島）における「Well-being ひろば」を開催する。次期全国総会（北九州）では、新たな企画立案を目指す。
 - ① 全国総会（福島）における「Well-being ひろば」にて、1. スマホでなんでもアンケート、2. 非対面でいつでも参加できる情報共有スペース（パネル展示方式）、3. 数人で話ができるイベント（会期中3回開催）、4. Well-being ひろば（個別相談）を実施する。
 - ② 次期全国総会（北九州）では、①のイベント実施結果を基に新たな企画立案する。
 - ・実技協における動物実験計画書の審査システム構築および動物実験委員会の設置を行う。
 - ・実働を通じた多様性のある次世代の部局員の人材育成を行う。
 - ① 実験動物福祉部内にてオンライン勉強会を実施する。
- 6) 人材育成・教育研修部（人材育成・教育研修部長：橋本直子）
- ・支部や他団体との実験動物技術に関するイベントの企画・立案をおこなう。
 - ① 奥羽支部・他団体との共催イベントを開催予定
 - ・協会の人材育成にむけた情報収集と運営の円滑化にむけた資料を作成する。
 - ① 関西・関東・東北・奥羽・北海道支部に支部運営に関するヒアリングをおこない、それにもとづき資料を作成する
 - ・実験動物技術に関する情報を収集しホームページやメールマガジンを活用し発信する。
 - ・日本実験動物医学専門医協会（JCLAM）と協力して人材育成事業活動をおこなう。
 - ① 第71回日本実験動物学会総会（JALAS2024 京都）における共催シンポジウムの運営を双方で担当する
- 7) 選挙管理委員会（選挙管理委員長：坂本雄二）
- ・理事長候補者選挙を行う。
8. 関連学協会等との連携
- 以下の団体活動に積極的に参画し活動に協力する。
- 1) (公社) 日本実験動物学会
 - ・2024 年5月31日 共催シンポジウム開催
 - 2) (公社) 日本実験動物協会
 - ・2023 年12月 通信教育小委員会
 - 3) ICLAS モニタリングセンター運営会議
 - 4) 実験動物関連団体円卓会議

5) その他

- ・2023年11月3日 第41回九州実験動物研究会、第43回日本実験動物技術者協会九州支部研究発表会合同山口大会 特別講演(中野)
- ・2023年11月18-19日 科学技術振興機構(JST)主催 サイエンスアゴラ2023 出展参加

9. 各支部の講演会、技術講習会、支部総会、役員会等を以下の通り開催する。

(詳細は各支部のHPを参照)

1) 北海道支部(支部長:小玉雄介)

①講演会・講習会

- ・実技講習会 期日:2023年11月(予定) 場所:未定
- ・勉強会 期日:2024年2月(予定) 場所:未定
- ・特別講演会 期日:2024年6月(予定) 場所:未定

②支部総会

- ・第49回支部総会 期日:2024年6月(予定) 場所:未定

③役員会

- ・適宜オンライン開催

④その他

- ・北海道支部会報の発行
発行日:2024年4月(予定)

2) 奥羽支部(支部長:高橋智輝)

①講演会・講習会

- ・特別講演会
期日:2024年(未定) 場所:未定

②支部総会

- ・令和5年度支部総会
期日:2024年8月(予定) 場所:未定

③役員会

- ・第1回役員会
期日:2024年8月(予定)

3) 東北支部(支部長:石橋 崇)

①講演会・講習会

- ・第34回東北動物実験研究会 共催(テーマ:我が国における微生物モニタリング検査の将来像)
講師:石田智子先生、丸山滋先生、伊藤由広先生
期日:2023年10月21日(第57回日本実験動物技術者協会総会中に開催)、場所:コラッセふくしま4階多目的ホール
- ・第9回実験動物技術研究交流大会(テーマ:動物施設震災危機管理Update)
講師:原田伸彦先生、小澤和典先生、宮下早奈枝先生
期日:2023年10月20日(第57回日本実験動物技術者協会総会中に開催)、場所:コラッセふくしま4階多目的ホール
- ・第3回ワークショップ(テーマ:様々な実験動物種(ブタ、ウサギ、マーモセット類)における安楽死処置の最新の話題)
期日:2024年4月頃(予定)、場所:Web開催

②支部総会

- ・令和5年度支部総会
期日:2024年8月頃(予定)、場所:未定

③役員会

- ・年2回開催、場所:未定

4) 関東支部（支部長：江藤智生）

①講演会・講習会

- ・微生物統御実技講習会 第431回本部共催
講師：林元展人、保田昌彦、石田智子、江藤智生
期日：2023年11月3-4日、場所：(公財) 実験動物中央研究所（神奈川県川崎市）
- ・REG部会 第22回講演会
期日：2023年11月18日、ZOOM ウェビナー 主会場：株式会社夏目製作所（東京都文京区）
- ・第49回関東支部懇話会「実験動物技術者とデジタル革命」
講師：調整中（関東支部ホームページ参照）
期日：2024年2月17日、場所：川崎市産業振興会館（神奈川県川崎市） および ZOOM ウェビナー
- ・動物実験基本手技実技講習会 検討中
講師・期日・場所 検討中

②支部総会

- ・令和5年度関東支部総会
期日：2024年2月17日、場所：川崎市産業振興会館（神奈川県川崎市）

③役員会

- ・令和5年度 第4回幹事会、期日：2023年10月7日、場所：(株)夏目製作所（東京都文京区）(ZOOMによるオンライン含む)
- ・令和5年度 第5回幹事会、期日：2023年12月2日、場所：(株)夏目製作所（東京都文京区）(ZOOMによるオンライン含む)
- ・令和5年度 第6回幹事会、期日：2024年2月3日、場所：(株)夏目製作所（東京都文京区）(ZOOMによるオンライン含む)
- ・令和6年度 第1回幹事会、期日：2024年4月、場所：(株)夏目製作所（東京都文京区）(ZOOMによるオンライン含む) 検討中
- ・令和6年度 第2回幹事会、期日：2024年6月、場所：(株)夏目製作所（東京都文京区）(ZOOMによるオンライン含む) 検討中
- ・令和6年度 第3回幹事会、期日：2024年8月、場所：(株)夏目製作所（東京都文京区）(ZOOMによるオンライン含む) 検討中

④その他

- ・関東支部会報の発行
第206号 発行日：2023年10月
第207号 発行日：2024年1月
第208号 発行日：2024年4月 検討中
第209号 発行日：2024年7月 検討中
- ・事務局・総務による関東支部事務運営（通年）
- ・関東支部ホームページ・メーリングリスト運営（通年）
- ・動物実験委員会による動物実験の審査・指導（動物実験に伴う）

5) 東海北陸支部（支部長：廣江 猛）

①講演会・講習会

- ・実験動物実技講習会（2級試験対策）
期日：2023年11月3日、場所：藤田医科大学 大学1号館
- ・第2回3支部（東海北陸・関西・九州）交流会（第19回技術交流会）
期日：2024年1月～2月、場所：オンライン
- ・第10回春期大会
期日：2024年4月中旬（予定）、場所：未定
- ・実験動物と動物実験 基本的動物実験手技（第17回）
期日：2024年7月下旬（予定）、場所：藤田医科大学 大学1号館

②支部総会

- ・令和5年度第10回支部総会
期日：2024年4月中旬（予定）、場所：未定

③役員会

- ・年3～4回開催、場所：Web開催他

④その他

- ・東海北陸支部会報の発行、年2回～3回

6) 関西支部（支部長：三上崇徳）

①講演会・講習会

- ・関西実験動物研究会・日本実験動物技術者協会関西支部合同大会
「人間と動物の多角的理解～福祉を進化させるために～」
講師：打越綾子先生、宮道和成先生
期日：2023年9月22日、場所：オンライン
- ・第15回ウサギ・モルモット上級技術講習会
期日：2023年11月11日～12日、場所：滋賀医科大学
- ・オンラインでマウス・ラット上級技術プチ講習会（座学）
期日：2023年11月19日、場所：オンライン
- ・第2回3支部（東海北陸・関西・九州）交流会
期日：2024年1～2月予定、場所：オンライン
- ・2023年度関西支部春季大会
期日：未定、場所：未定
- ・第79回実験動物学習会
期日：未定、場所：未定
- ・第14回マウス・ラット上級技術講習会
期日：未定、場所：岡山大学

②支部総会

- ・2023年度支部総会
期日：2023年10月～11月予定、書面決議

③役員会

- ・年4回開催予定、場所：オンラインまたは神戸市内、大阪府他

④その他

- ・関西支部会報の発行、年4～5号（予定）

7) 九州支部（支部長：中村直子）

①講演会・講習会

- ・九州地区技術研修会
講師：越本 知大先生 他9名、期日：2023年9月2日・9日・10日、場所：熊本保健科学大学
開催形式：熊本保健科学大学での対面形式と希望する受講者に対して講義のみをWeb配信するハイブリッド開催
- ・第2回 三支部（東海北陸・関西・九州）交流会
期日：2024年1月～2月頃、場所：Web開催
- ・九州支部 第2回勉強会
期日：2024年6月中旬予定、場所：Web開催

②支部総会

- ・第46回支部総会（維新ホール（山口市）・書面決議）
- ・第43回研究発表会
期日：2023年11月3日・4日、場所：維新ホール（山口市）（一般演題の中から九州支部技術奨励賞の受賞者を選定予定）

③役員会

- ・第1回役員会（予定）、期日：2023年11月2日、場所：山口大学（宇部市）
- ・第2回役員会（予定）、期日：2023年12月、場所：Web開催
- ・第3回役員会（予定）、期日：2024年3月、場所：Web開催
- ・第4回役員会（予定）、期日：2024年5月、場所：Web開催
他必要に応じてweb開催

④その他

- ・九州支部会報の発行 発行日：2023年12月（予定）
- ・九州支部ニュースの発行 発行日：2024年2月、7月（予定）

【第5号議案】

令和5年度（法人第8期）予算案

(2023年9月1日～2024年8月31日)

(単位:円)

科目	本部			
	2024年8月期	2023年8月期決算	2023年8月期	予算増減
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益(収入)				
1) 受取入会金収入				
① 入会金収入	110,000	100,000	140,000	△ 30,000
② その他収入	0	0	0	0
受取入会金収入計	110,000	100,000	140,000	△ 30,000
2) 受取会費収入				
① 正会員会費収入	3,440,000	3,472,000	3,720,000	△ 280,000
② 賛助会費収入	2,000,000	2,010,000	2,100,000	△ 100,000
③ その他収入	0	0	0	0
受取会費収入計	5,440,000	5,482,000	5,820,000	△ 380,000
3) 一般事業収入				
① 講演会事業収入	230,000	0	0	230,000
② 会誌発行事業収入	1,000,000	1,142,239	500,000	500,000
③ 資料等販売収入	0	0	0	0
④ その他収入	0	0	0	0
一般事業収入計	1,230,000	1,142,239	500,000	730,000
4) 総会事業収入				
① 総会関連収入	0	0	0	0
② その他収入	0	0	0	0
総会事業費収入計	0	0	0	0
5) その他収入				
① 受取寄附金等	0	0	0	0
② 受取利息等	0	33	0	0
③ その他収入	0	2,200	0	0
その他収入計	0	2,233	0	0
※ 本部 支部間助成金(支部への支出)				
① 共催費	0	0	0	0
② 支部援助金	0	0	0	0
本部 支部間助成金計	0	0	0	0
【経常収益計】	6,780,000	6,726,472	6,460,000	320,000
(2) 経常費用(支出)				
1) 事業費				
① 講演会・講習会事業費	395,000	0	0	395,000
② 総会運営費(全国大会)	150,000	20,315	200,000	△ 50,000
③ 会誌(機関誌・広報)発行事業費	850,000	1,377,454	950,000	△ 100,000
④ 表彰経費	50,000	34,073	50,000	0
⑤ その他	55,000	0	250,000	△ 195,000
⑥ 支部への共催費支出	650,000	250,130	600,000	50,000
事業費計	2,150,000	1,681,972	2,050,000	100,000
2) 管理費				
① 理事会等会議費	200,000	14,352	700,000	△ 500,000
② 運搬及び通信運搬費	725,000	456,369	650,000	75,000
③ 事務用及び消耗品費	20,000	8,384	5,000	15,000
④ 印刷費	150,000	58,163	100,000	50,000
⑤ 旅費交通費	50,000	0	50,000	0
⑥ 租税公課	90,000	87,357	85,000	5,000
⑦ 交際費	155,000	22,970	80,000	75,000
⑧ 支払手数料	180,000	169,901	150,000	30,000
⑨ 支払報酬	70,000	66,000	100,000	△ 30,000
⑩ 業務委託費	2,485,000	2,484,420	2,485,000	0
⑪ 選挙管理費	80,000	0	0	80,000
⑫ 販売教材作成費	0	0	0	0
⑬ 雑費	5,000	0	5,000	0
3) 減価償却費	122,760	122,760	122,760	0
4) 法人税等	0	0	0	0
管理費計	4,332,760	3,490,676	4,410,000	△ 77,240
【経常費用計】	6,482,760	5,172,648	6,460,000	22,760
【当期一般正味財産増減額】	297,240	1,553,824	0	297,240
【一般正味財産期首残高】	8,592,674	7,038,850	8,592,674	0
【一般正味財産期末残高】	8,889,914	8,592,674	8,592,674	297,240
II 正味財産期末残高	8,889,914	8,592,674	8,592,674	297,240

その他事項

報告事項

1. 令和4年10月14日（法人第6期社員総会開催日）～令和5年8月31日までの間に東北支部と関東支部にて開催された行事について以下の通りである。これらは本議案書での対象となる協会年度外の情報であるが、前回社員総会議案書において過去慣例に習い協会対象年度実績への記載対象としていなかった事等より、本項にて記載報告を行います。なお、次年度よりは各支部報告事項の掲載範囲の対象は法人年度である9月1日から翌年8月末日までの期間にて統一します。

東北支部（支部長：石橋 崇）（法人第6期（令和3年9月1日～令和4年8月31日）実績）

講演会・講習会

- ・施設見学会（山形大学医学部動物実験センター 改修工事概要説明、施設見学、質疑応答）
期日：2022年8月27日、場所：山形大学医学部メディカルサイエンス推進研究所 動物実験センターD棟
参加者：会員23名

関東支部（支部長：江藤智生）（法人第6期（令和3年9月1日～令和4年8月31日）実績）

①講演会・講習会

- ・動物実験基本手技実技講習会 第423回本部共催
講師：根津義和、高橋秀幸、志津野博、平野貢、内藤佳津子
期日：2022年8月18-20日、場所：動物繁殖研究所、参加者：会員11名、非会員13名

②役員会

- ・令和4年度 第1回幹事会（ZOOMによるオンライン会議）
期日：2022年4月2日、主会場：株式会社夏目製作所（東京都文京区）参加者12名
- ・令和4年度 第2回幹事会（ZOOMによるオンライン会議）
期日：2022年5月28日、主会場：株式会社夏目製作所（東京都文京区）参加者12名
- ・令和4年度 第3回幹事会（ZOOMによるオンライン会議）
期日：2022年8月6日、主会場：株式会社夏目製作所（東京都文京区）参加者12名

③その他

- ・関東支部会報の発行
第200号 発行日：2022年4月11日
第201号 発行日：2022年7月8日

2. 第58回大会準備状況について

主管支部：九州支部
大会長：中村直子（熊本大学）
会期：2024年10月10日（木）～10月12日（土）
会場：北九州国際会議場（北九州市）

3. 規程類の整備状況

以下に記す規程類等について改定を行った（資料6規程類（令和4年度改正分）参照）。

- ・部局運営規程（令和4年11月23日一部改正）
- ・表彰規程（令和5年6月22日一部改正）
- ・実験動物福祉奨励賞選考細則（令和5年6月3日一部改正）
- ・一般社団法人日本実験動物技術者協会の事業における押印文書に関する申し合わせ（令和5年7月24日新規運用）
- ・投稿要領（令和5年6月3日一部改正）

4. 理事会メール審議について

- ・令和4年度（法人第7期）においてメール審議は実施されなかった。

5. 一般社団法人日本実験動物技術者協会の事業における押印文書の取り扱いについて
 - ・協会で取り扱う公式文書等についての押印時における印鑑の取り扱いについて不明瞭であったので、理事会申し合わせ事項として「一般社団法人日本実験動物技術者協会の事業における押印文書の取り扱いについて」を新たに設け施行した。

6. 議事録の運用と過去情報の保管の適正化について
 - ・理事会開催時の議事録の取り方について、従来手法よりも議論の中身、論点となった箇所がより明確に把握できる記載手法とし、後年に遡った場合においても検証が行いやすいものとした。また、過去議事録含めた理事会で取り扱った諸情報の保管手法についても見直し、不十分な物は整備対応も施した上で検索性の向上にも配慮した格納手法とした。

7. 全国大会開催時における会計処理について
 - ・全国大会開催時における、本部からの助成金とその返還についての考え方、加えて大会決算終了後の余剰金（黒字）の取り扱いについて「全国大会に関する申合せ」が設けられているが、記載内容に関する認識が新旧理事間で相違が見られたため、その運用について改めて理事会で確認を行い明確化した。この状況を踏まえて「全国大会に関する申合せ」の改定を早急に行う事とした。

【資料1】

令和5年度 理事・部局長・監事（案）

（任期：2023年総会日～2024年総会日）

役員名	氏名	所属
理事長	中野洋子	帝京科学大学生命環境学部
副理事長	野口和浩	熊本大学大学院生命科学研究部
副理事長	武智眞由美	島根大学研究・学術情報機構総合科学研究支援センター
理事（事務局長、選挙管理委員長）	坂本雄二	千寿製薬株式会社
理事（財務部長）	竹原 広	株式会社安評センター
理事（企画調整部長 広報編集委員長）	野田義博	東京都健康長寿医療センター
理事（情報部長）	日野千紘	旭川医科大学研究技術支援センター
理事（編集部長、査読委員長）	丸山 滋	ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社
理事（実験動物福祉部長）	若松真矢	株式会社新日本科学
理事（北海道支部長）	小玉雄介	三協ラボサービス株式会社
理事（奥羽支部長）	高橋智輝	岩手医科大学
理事（東北支部長）	石橋 崇	東北大学
理事（関東支部長）	江藤智生	（公財）実験動物中央研究所
理事（東海北陸支部長）	廣江 猛	生理学研究所
理事（関西支部長）	三上崇徳	川崎医科大学
理事（九州支部長）	中村直子	熊本大学
部局長（人材育成・教育研修部長）	橋本直子	京都大学ヒト行動進化研究センター
監事	後藤一雄	帝京大学医療技術学部
監事	志津野博	ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社

名誉会員・顧問

（2023年8月31日現在）

名誉会員	堀 祐司	
顧問	朱宮正剛	
顧問	高橋久英	
顧問	大和田一雄	岡山理科大学
顧問	小原 徹	
顧問	井上吉浩	東北大学加齢医学研究所
顧問	坂本雄二	千寿製薬株式会社
顧問	伊藤恒賢	山形大学

【資料2】

令和5年度 部局・委員会

(任期：2023年総会日～2024年総会日) 五十音順

事務局

- 事務局長 坂本雄二 (千寿製薬株式会社)
副 局 長 尾崎順子 (山形大学医学部メディカルサイエンス推進研究所動物実験センター)
局 員 宇都宮史人 (シオノギテクノアドバンスリサーチ株式会社)
" 大矢康貴 (名古屋大学大学院医学系研究科附属医学教育研究支援センター実験動物部門)
" 北嶋修司 (佐賀大学総合分析実験センター生物資源開発部門)
" 橋本春菜 (島根大学研究・学術情報機構総合科学研究支援センター)
" 谷口佳史 (株式会社ケー・エー・シー)
事 務 員 三浦由利恵 (株式会社アドスリー)

財務部

- 部 長 竹原 広 (株式会社安評センター研究本部安全性小動物試験室)
副 部 長 宮下早奈枝 (札幌医科大学医学部動物実験施設部)
部 員 石原すみれ (岡山大学自然生命科学研究支援センター)
事務取扱 三浦由利恵 (株式会社アドスリー)

企画調整部

- 部 長 野田義博 (東京都健康長寿医療センター研究所)
副 部 長 武井信貴子 (株式会社イナリサーチ試験研究センター)
部 員 伊藤由広 (ハムリー株式会社)
" 山根到 (自然科学研究機構生理学研究所)
事務取扱 三浦由利恵 (株式会社アドスリー)

情報部

- 部 長 日野千紘 (旭川医科大学研究技術支援センター)
副 部 長 川辺敏晃 (アーク・リソース株式会社)
部 員 土山修治 (熊本大学生命資源研究・支援センター)
" 室田宏之 (北海道大学遺伝子病制御研究所)
事務取扱 三浦由利恵 (株式会社アドスリー)

編集部

- 部 長 丸山 滋 (ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社門)
副 部 長 藤平篤志 (日本獣医生命科学大学)
部 員 安齋政幸 (近畿大学先端技術総合研究所)
" 渡邊利彦 (中外製薬株式会社)
事務取扱 三浦由利恵 (株式会社アドスリー)

実験動物福祉部

- 部 長 若松真矢 (株式会社新日本科学)
副 部 長 大竹俊男 (慶応義塾大学動物実験センター)
部 員 武井信貴子 (株式会社イナリサーチ試験研究センター動物試験部)
" 長沼佑季 (アステラス製薬株式会社つくば研究センター)
" 橋本直子 (京都大学ヒト行動進化センター)
" 堀 秀帆 (東海大学メディカルサイエンスカレッジオフィス)

〃 松隈豊和 (UBE 株式会社医薬研究所)
〃 水澤卓馬 ((公財) 実験動物中央研究所事業部門動物資源技術センター)
〃 安野 航 (岩手医科大学医歯薬総合研究所動物研究センター)
〃 山中沙織 (JT クリエイティブサービス高槻事業所)
〃 山根 到 (生理学研究所動物実験コーディネータ室)
〃 横山継育 (株式会社スターラボ生殖工学業務部兼実験動物管理業務部)
事務取扱 三浦由利恵 (株式会社アドスリー)

人材育成・教育研修部

部 長 橋本直子 (京都大学ヒト行動進化研究センター)
副 部 長 渡邊利彦 (中外製薬株式会社)
部 員 安野 航 (岩手医科大学医歯薬総合研究所動物研究センター)
〃 若松真矢 (株式会社新日本科学)
事務取扱 三浦由利恵 (株式会社アドスリー)

【資料3】

令和5年度 評議員

(任期：2023年総会日～2024年総会日 43名) 支部毎 五十音順

所属先は就任時職名在、括弧内は定数

※新しく選任された評議員 (任期：2023年総会日から2024年総会日まで)

選出支部	氏名	所属	選出支部	氏名	所属
北海道支部	小林 元	北海道医療大学	東海北陸支部	石河秀樹	三重大学
	大籠越騎	北海道大学		冨田耕平	(株) ケー・イー・シー
	中村大輔	三協ラボサービス (株)		橋本直子	京都大学ヒト行動進化研究センター
	西村浩樹	株式会社ホクドー		羽根田千江美	藤田医科大学
	溝口定之	オリエンタル酵母工業 (株)		中村由季子	金沢大学
奥羽支部	小畑孝弘	秋田大学	関西支部	石原すみれ	岡山大学
	白濱育美	弘前大学		井上龍木	大阪大学微生物病研究所
	安野 航	岩手医科大学		小川哲平	(株)夏目製作所
	米谷 学	(公財)環境科学技術研究所		澤浦雅人	日本チャールス・リバー (株)
東北支部	小澤和典	福島県立医科大学		攝田友香	三協ラボサービス (株)
	小島修樹	東北医科薬科大学		玉井邦明	(株)エーテック
	熊谷 隆	(有)熊谷重安商店		濱口 亮	ハマグチラボプラス (株)
	塚田香葉 ※	日本全業工業 (株)		和田重太郎	(株) カネカ
	福田直樹	山形大学		九州支部	川辺敏晃
関東支部	池田大志 ※	日本クレア (株)			重本直昭
	鶴詞 学 ※	鹿野義塾大学	立部 啓		鹿児島大学
	大野怜一朗	東京大学	山本沙代		九州大学
	小田佳奈子	新潟大学脳研究所	山本直土		長崎大学
	上條信一	(株) ライフィル	古賀崇男		福岡大学
	櫻井拓也	(株) アニマルケア			
	玉里友宏	ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン (株)			
	福嶋章義	(株) ジェー・イー・シー			
	藤澤修平	(株) 夏目製作所			
	守屋幸治	北山ラベス (株)			

【資料4】

令和5年度 支部役員

1. 北海道支部（任期：2022年9月1日～2024年8月31日）

支部役職名	氏名	所属
支部長	小玉雄介	三協ラボサービス(株)札幌営業所
副支部長	大瀧越騎*	北海道大学遺伝子病制御研究所
幹事(事務局・会計)	宮下早奈枝	札幌医科大学医学部動物実験施設部
幹事	玉置雅祥	札幌医科大学医学部動物実験施設部
幹事	日野千紘	旭川医科大学研究技術支援センター
幹事	室田宏之	北海道大学遺伝子病制御研究所
幹事	中村大輔	三協ラボサービス(株)札幌営業所
幹事	西村浩樹	(株)ホクドー
幹事	西堀頼史	オリエンタル酵母工業(株)
幹事	溝口定之	オリエンタル酵母工業(株)
幹事	小林 元	北海道医療大学動物実験センター

2. 奥羽支部（任期：2022年9月1日～2023年8月31日）

支部役職名	氏名	所属
支部長	高橋智輝	岩手医科大学医歯薬総合研究所動物研究センター
副支部長	米谷学	(公財)環境科学技術研究所
副支部長	小畑孝弘	秋田大学バイオサイエンス教育・研究センター
幹事(事務局)	高橋正敏	東北ニュークリア(株)
幹事(会計)	安野 航	岩手医科大学医歯薬総合研究所動物研究センター
幹事(情報部)	矢野愛美	秋田大学バイオサイエンス教育・研究センター
幹事	白濱育美	弘前大学大学院医学研究科附属動物実験施設
幹事	千葉美里	岩手医科大学医歯薬総合研究所動物研究センター
監査	阿部修二	日本クレア(株)仙台出張所
監査	HAO YIN	弘前大学大学院医学研究科附属動物実験施設

3. 東北支部（任期：2022年9月1日～2024年8月31日）

支部役職名	氏名	所属
支部長	石橋 崇	東北大学加齢医学研究所実験動物管理室
副支部長	小澤和典	福島県立医科大学医学部実験動物研究施設
副支部長	福田直樹	山形大学医学部MS研究所動物実験センター
会計	熊谷 隆	(有)熊谷重安商店
事務局	野原豪和	山形大学医学部MS研究所動物実験センター
幹事	高橋智裕	日本クレア(株)仙台出張所
幹事	西尾啓輔	東北大学大学院医学系研究科動物実験施設
幹事	小島修樹	東北医科薬科大学実験動物センター
幹事	塚田香菜	日本全業工業(株)
幹事	丹治静保	福島県立医科大学医学部実験動物研究施設

幹事	須藤まゆみ	山形大学医学部MS 研究所動物実験センター
幹事	大崎雄介	東北大学大学院農学研究科栄養学分野
幹事	栗崎政希	東北医科薬科大学実験動物センター
支部監事	森川正喜	東北大学大学院医学系研究科動物実験施設

4. 関東支部（任期：2023年4月1日～2024年3月31日）

支部役職名	氏名	所属
支部長	江藤智生	(公財) 実験動物中央研究所
副支部長	鶴飼 学	慶應義塾大学医学部
幹事 (総務)	藤澤修平	(株) 夏目製作所
幹事 (会計)	小暮一俊	(株) 日立産機システム
幹事	池田大志	日本クレア(株)
幹事	大野怜一朗	東京大学
幹事	櫻井拓也	(株) アニマルケア
幹事	玉里友宏	ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社
幹事	長澤 翼	(株) アニマルケア
幹事	福嶋章義	(株) ジェー・エー・シー
支部顧問	上條信一	(株) ライフィル
監査	佐竹聖人	東京大学薬学部
監査	川村 直	三協ラボサービス(株)

5. 東海北陸支部（2023年4月1日～2025年3月31日）

支部役職名	氏名	所属
支部長	廣江 猛	自然科学研究機構動物資源共同利用研究センター
副支部長 (支部長補佐)	前田秀之	福井大学ライフサイエンス支援センター
副支部長 (企画チーフ)	竹原 広	(株) 安評センター研究本部安全性小動物試験室
事務局長	石河秀樹	三重大学研究基盤推進機構先端科学研究支援センター動物実験施設
事務局 (会計)	窪田美津子	自然科学研究機構動物資源共同利用研究センター
事務局 (広報)	橋本直子	京都大学ヒト行動進化研究センター
幹事	羽根田千江美	藤田医科大学研究推進本部病態モデル先端医学研究センター
幹事	大矢康貴	名古屋大学大学院医学系研究科附属医学教育研究支援センター実験動物部門
幹事 (企画サブチーフ)	青島拓也	浜松医科大学先端医学教育研究センター医用動物資源支援部
幹事	千原 猛	四日市看護医療大学看護医療学部臨床検査学科
幹事	森ララミ	名古屋大学環境医学研究所
幹事	中村由季子	金沢大学疾患モデル総合研究センター実験動物研究施設
幹事	橋本 慶	科研製薬(株) 新薬創生センター薬物動態・安全性部
幹事	大塚健司	ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン (株) 日野飼育センター
幹事	井上和彦	日本エスエルシー(株)
支部監事	前田典彦	京都大学ヒト行動進化研究センター
支部監事	富田耕平	(株) ケー・エー・シー アニマルサイエンス西日本事業部第二事業所

6. 関西支部（任期：2023年9月1日～2024年8月31日）

支部役職名	氏名	所属
支部長	三上崇徳	川崎医科大学中央研究センター

副支部長（兼）教育部長	井上龍太	大阪大学微生物病研究所附属感染動物実験施設
副支部長（兼）財務部長	澤浦雅人	ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン(株)
副支部長（兼）企画広報部長	小川哲平	(株)夏目製作所
事務局長（兼）マウス・ラット上級技術講習会 WG 責任者	石原すみれ	岡山大学自然生命科学研究支援センター
幹事（事務局/総務）	南世利奈	川崎医科大学中央研究センター
幹事（事務局/総務）	矢田範夫	岡山大学自然生命科学研究支援センター
幹事（事務局/総務）	山田進	藤田医科大学ダビンチ低侵襲手術トレーニングセンター
幹事（事務局/総務）	濱口祥恵	国立循環器病研究センター研究所
幹事（企画広報部）（兼）実験動物学習会・実技 WG 副責任者	柳原裕太	愛媛大学プロテオサイエンスセンター 病態生理解析部門
幹事（企画広報部）	寺門一郎	滋賀医科大学動物生命科学研究センター
幹事（財務）	高橋明之	(株)JT クリエイティブサービス
幹事（財務）	木下亮一	(株)JT クリエイティブサービス
幹事（財務）	尾崎翼	(株)JT クリエイティブサービス
幹事（財務）	井上真理子	川崎医科大学中央研究センター
幹事（財務）	橋本春菜	島根大学研究・学術情報機構総合科学研究支援センター
幹事（教育/マウス・ラット上級技術講習会 WG 副責任者）	宮寄 章	(株)ケー・エー・シー
幹事（教育/マウス・ラット上級技術講習会 WG 副責任者）	今泉秀隆	(株)ケー・エー・シー
幹事（教育/実験動物学習会・実技 WG 責任者）	攝田友香	三協ラボサービス(株)
幹事（教育/ウサギ・モルモット上級技術講習会 WG 責任者）	河本育士	滋賀医科大学動物生命科学研究センター
幹事（教育）	和田重太郎	(株)カネカ
幹事（教育）	塩谷恭子	国立循環器病研究センター研究所
幹事（教育）	八田耕志	日本クレア(株)
幹事（教育）	玉井邦明	(株)エーテック
幹事（教育）	濱口 亮	ハマグチラボプラス (株)
幹事（教育）	清水何一	清水実験材料(株)
幹事（教育）	松尾浩希	三協ラボサービス (株)
幹事（教育）	菅野史朗	ハムリー(株)
幹事（教育）	福永徹也	(株)大塚製薬工場
幹事（教育）	井之上幸範	神戸大学大学院医学研究科
監査	池渕一也	大鵬薬品工業(株)
監査	坂本雄二	千寿製薬(株)
動物実験委員長	塩谷 恭子	国立循環器病研究センター研究所
アドバイザー	山本好男	(一社)環境健康学研究会
アドバイザー	武智眞由美	島根大学研究・学術情報機構総合科学研究支援センター
アドバイザー	田島 優	

7. 九州支部（任期：2022年11月30日～2024年11月29日）

支部役職名	氏名	所属
支部長	中村直子	熊本大学技術部（生命資源研究・支援センター）
副支部長（支部ニュース）	山本沙代	九州大学研究院附属ヒト疾患モデル研究センター
副支部長（実験技術）	若松真矢	(株)新日本科学
幹事（事務局）	立部 誉	鹿児島大学研究推進機構研究支援センター
幹事（本部理事/実験技術）	野口和浩	熊本大学大学院生命科学研究部
幹事（会計）	川辺敏晃	アーク・リソース(株)

幹事 (会計)	重本直昭	九動(株)
幹事 (会報編集)	山本直土	長崎大学生命科学研究支援センター
幹事 (会報編集/事務局)	古賀崇男	福岡大学アニマルセンター
幹事 (情報)	河端万葉	佐賀大学総合分析センター生物資源開発部門
幹事 (情報)	七條宏樹	宮崎大学フロンティア科学総合研究センター
幹事 (支部ニュース)	岡部百合	久留米大学医学部動物実験センター
監査	岩木俊作	日本SLC(株)
監査	糸山恭平	(株)ケービーティオーリエントアル

【資料5】

令和5年度 賛助会員

(2023年8月31日現在 67社) 五十音順

機 関 名		
アーク・リソース (株)	(株) ケー・イー・シー	トキワ科学器械 (株)
(株) 朝日工業社	興和 (株) 東京創薬研究所	公益財団法人 鳥取県産業振興機構
あすか製薬 (株)	三協ラボサービス (株)	(株) 夏目製作所
アステラス製薬 (株)	(株) 三和化学研究所	(株) 日東エアテック
(株) アドスリー	(株) ジェー・イー・シー	(株) 日本エスエルシー
(株) アニマルケア	シオノギテクノアドシンスリサーチ (株)	日本化薬 (株)
(株) アニメック	(公財) 実験動物中央研究所	日本クレア (株)
(株) 安評センター	(株) シナノ製作所	日本実験動物器材協議会
EA ファーマ (株)	清水実験材料 (株)	日本実験動物協同組合
(株) アイテック	新生冷熱工業 (株)	日本実験動物飼料協会
(株) エーテック	(株) 新日本科学	ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン (株)
(株) NAS 研究所	(株) 精研	日本農業 (株) 総合研究所
(株) 大阪ビル管理	清和産業 (株)	ハムリー (株)
(株) 大塚製薬工場	千寿製薬 (株)	フィード・ワン (株)
小野薬品工業 (株)	第一三共 (株)	(株) フナバシファーム
オリエンタル酵母工業 (株)	大正製薬 (株)	三浦工業 (株)
科研製薬 (株) 新薬創成センター	ダイダン (株)	(株) 美濃ラボ
(株) カネカ	(株) 中外医科学研究所	ヤクルト本社中央研究所
北山ラベス (株)	中外製薬 (株)	ラビックス (株)
キッセイ薬品工業 (株)	テクニプラスト・ジャパン (株)	(株) ラボテック
九動 (株)	東京実験動物 (株)	(株) レナテック
協和キリン (株)	東京ビジネスサービス (株)	
(有) 葛生運送	(一財) 動物繁殖研究所	

【資料6】規程類（令和4年度改正分）

部局運営規程

（趣旨）

第1条 この規程は、一般社団法人日本実験動物技術者協会（以下、「本協会」という。）定款第36条第2項に基づき、本協会の部局の運営に関し、必要な事項を定める。

（部局員）

第2条 部局には、個人会員で構成される若干名の部局員をおく。

2 部局長は、部局員の中から副部局長を任命しなければならない。

3 副部局長は部局長を補佐し、部局長に事故があるとき又は部局長が欠けたときは、新たに部局長が選任されるまでの間、部局長代行として部局内の会務を執行する。

（任命）

第3条 理事長は、部局長が選定した部局員を理事会の議を経て部局員に任命する。

（職務）

第4条 部局は、別表1に示した事項に関しての職務を担う。

（改廃）

第5条 この規程の改廃は、理事会の議決による。

（その他）

第6条 この規程に定めるもののほか、部局に関し必要な事項は、理事会の議を経て別に定める。

附則

1 本規程は平成30年10月7日より施行する。

2 令和3年7月21日一部改正

3 令和4年11月23日一部改訂

別表1 部局の職務

部 局 名	職 務 内 容
事務局	(1) 社員総会の総会議事（案）書の作成 (2) 社員総会並びに理事会の議事録の作成 (3) 事務等に関する事項 (4) 定款・規程及び細則等に関する事項 (5) 刊行物の出版に関する事項 (6) 会員名簿の管理、会費の請求及び領収に関する事項 (7) 表彰に関する庶務業務に関する事項 (8) 部局相互間の連携・調整・連絡に関する事項 (9) 他の部局の所掌に属しないものに関する事項
財務部	(1) 本協会における会計業務等に関する事項 (2) 本部・支部企画への財務支援に関する事項
情報部	(1) ホームページ及びメーリングリスト等の電子化に向けた整備と運営に関する事項 (2) 本部支部活動の情報共有促進を進めるためのツール検討と実施に関する事項 (3) 社員総会等効率化が可能となる事業内容についての電子化対応の整備 (4) メールマガジンなど協会内催事連絡等に関する事項
企画調整部	(1) 関連団体との連携にかかる事項 (2) その他、企画及び調整等に関する必要な事項 (3) 広報発行に向けた企画の立案に関する事項
編集部	(1) 機関誌の査読、編集及び制作に関する事項 (2) 機関誌の紙面の充実や科学雑誌としての質の確保・向上に関する事項 (3) その他、広報活動に関する事項を除く学術分野の編集及び政策に関する事項

<p>実験動物福祉部</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 実験動物福祉に関する情報収集・提供及び広報活動に関する事項 (2) その他、実験動物福祉に関する必要な事項 (3) 本部支部企画等の調査及び開催に関する事項ならび人的支援 (4) 動物実験委員会発足に関する規程等の整備に関する事項
<p>人材育成・ 教育研修部</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 実験動物技術者等の人材育成に関する事項 (2) 協会単独あるいは他団体と連携して開催する教育研修に関する事項 (3) 協会活動を担う人材育成に関する事項

【資料6】規程類（令和4年度改正分）

表彰規程

（趣旨）

第1条 この規程は、一般社団法人日本実験動物技術者協会（以下、「本協会」という。）定款（以下、「定款」という。）第59条に基づき、本協会が定める賞及び顕彰に関し、必要な事項を定める。

（目的）

第2条 本協会は、実験動物技術の発展に尽力し、貢献したと認められる個人に次条で規定する賞及び顕彰を与えて表彰することにより、定款第3条に掲げる目的のより一層の推進を図ることとする。

（賞及び顕彰）

第3条 本協会は、以下の賞及び顕彰を設けるものとする。

（1） 研究奨励賞

本賞は、本協会の機関誌への投稿により実験動物科学・技術の向上、発展、創意工夫および業務の改善等への意欲を導き、当該分野において社会的にも貢献したと認められた会員を表彰する。

（2） 実験動物福祉奨励賞

本賞は、実験動物及びヒトにおける福祉の充実・向上及び動物実験の適正性に寄与する取組みを推進するために、職場における飼育環境や実験手技の改善、実験動物福祉に関する発展的な技術開発等、実験動物福祉分野及びその関連技術への創意工夫を行った会員を奨励し表彰する。

（3） 実験動物技術功労賞

本賞は、本協会の活動に対し創意工夫、業務の改善を促し、実験動物技術への地道な支援活動を行った会員を評価し表彰する。

（4） 一般社団法人日本実験動物技術者協会顕彰

本賞は、本協会の目的に賛同し、実験動物技術の発展・普及並びに技術者教育に貢献した本協会会員及び関連分野の研究者・技術者等を顕彰する。

2 前項に定める賞及び顕彰の選考の基準及びその方法は、別表3のとおりとする。

（選考委員会）

第4条 研究奨励賞及び実験動物福祉奨励賞の選考委員会の設置は、別に定めた細則にしたがうものとする。

（推薦手順）

第5条 一般社団法人日本実験動物技術者協会顕彰の推薦は、別紙2の様式を用いて行うこととする。

（表彰する人数）

第6条 賞及び顕彰を授与する人数は、事業年度毎に制限を設けない。

（表彰）

第7条 表彰は、事業年度毎に定時社員総会において理事長が行う。

（副賞）

第8条 表彰者には、表彰の記念品として副賞を与えるものとする。

（担当事務）

第9条 表彰に関する事務は、関係する支部の協力を得て、事務局において行う。

（表彰手順）

第10条 表彰状の授与は、事業年度毎に定時社員総会において理事長が行うこととする。

2 表彰状の授与に先立ち、各賞の選考にあたった者が定時社員総会において選考事由の説明を行うこととする。

（1） 研究奨励賞は研究奨励賞の選考委員長とする。

（2） 実験動物福祉奨励賞は実験動物福祉奨励賞の選考委員長とする。

（3） 実験動物技術功労賞は選考した支部の支部長とする。

（4） 一般社団法人日本実験動物技術者協会顕彰は理事長とする。

3 表彰状および副賞の事務取扱は本部事務局が行うものとする。但し、技術功労賞については大会を主管する支部が受賞者との連絡調整と費用の負担をするものとする。

4 前項の副賞は大会主管支部に選定を依頼することができる。

（改廃）

第11条 この規程の改廃は、理事会の議決による。

(その他)

第12条 この規程に定めるもののほか、表彰に関し必要な事項は、理事会の議を経て別に定める。

附 則

1 本規程は平成30年10月7日より施行する。

2 研究奨励賞選考規程、実験動物技術功労賞選考規程、日本実験動物技術者協会顕彰規程及び実験動物福祉奨励賞選考規程は、平成30年10月6日に廃止する。

3 表彰に関する申し合わせを廃止し、令和4年4月19日に一部改正する。

4 各賞の目的についての追記ならびに別表3の資格の記載等を整理し、令和5年6月 22日に改正する。

別表3 賞・顕彰の表彰条件及び選考方法

賞・顕彰の種類	資 格	選考方法
研究奨励賞	前事業年度中に機関誌「実験動物技術」に発表された原著論文及び短報の筆頭著者で、3年以上会員歴を有する個人会員	研究奨励賞選考委員会で選考する。
実験動物福祉奨励賞	前事業年度中に開催された全国総会の一般演題発表を行った個人会員	実験動物福祉奨励賞選考委員会で選考する。
実験動物技術功労賞	全国総会の開催を主管する支部が推薦した個人会員	表彰予定の全国総会の開催を主管する支部で選考する。
一般社団法人日本実験動物技術者協会顕彰	1名以上の理事に推薦された、協会の目的に賛同した個人	理事会で選考する。

別紙2

一般社団法人日本実験動物技術者協会顕彰候補者推薦書
一般社団法人日本実験動物技術者協会理事長殿
一般社団法人日本実験動物技術者協会表彰規程に基づき、下記の通り平成____年度の一般社団法人日本実験動物技術者協会顕彰を授与するに相応しい者を以下のとおり推薦します。
顕彰候補者
氏 名:
所 属:
年齢(生年月日):
推薦理由(別紙推薦理由書添付可):
推薦者(一般社団法人日本実験動物技術者協会の理事に限る)
氏名 (協会における職名)・(氏名) (印)
氏名 (協会における職名)・(氏名) (印)
氏名 (協会における職名)・(氏名) (印)
推薦書提出年月日:

【資料6】規程類（令和4年度改正分）

実験動物福祉奨励賞選考細則

（趣旨）

第1条 この規程は、一般社団法人日本実験動物技術者協会表彰規程第4条に基づき、実験動物福祉奨励賞（以下、「福祉奨励賞」という。）の選考に関し、必要な事項を定める。

（選考委員会）

第2条 理事会は、福祉奨励賞を選考するために、実験動物福祉部長を委員長とする福祉奨励賞選考委員会（以下「選考委員会」という。）を組織する。

- 2 委員長は、必要に応じ、選考委員会を招集することができる。
- 3 選考委員会は、事業年度開始時に活動を開始し、選考結果の理事会への報告をもって当該事業年度の活動を終了する。

（委員）

第3条 選考委員会の委員の員数は、実験動物福祉部員及び個人会員の中から委員長を含めた若干名とし、特に任期は定めない。

- 2 実験動物福祉部員は委員を併任することができる。
- 3 委員長は、毎事業年度開始時に専門性や地域性、経験のバランスを考慮に委員を選定することとする。
- 4 理事長は、委員長が選定した個人会員を、委員として委嘱する。但し、理事長は、本権限を実験動物福祉部長に移譲できる。
- 5 理事長は、選考している期間中に委員の欠員が生じた場合に、補充の委員を委嘱できる。
- 6 委員を交代させる場合、選考委員会の継続性を考慮すること。

（副委員長）

第4条 委員長は、選考委員会に関する職務を補佐させるために委員の中から1名を副委員長に指名することができる。

（選考の基準）

第5条 委員は、福祉奨励賞の目的を勘案し、実験動物・実験動物およびそれに関わる者の福祉向上の寄与する開発性・新規性・独自性・発展性の観点から以下に基づき本賞を選出する。

- (1) 実験動物福祉の導入により科学的データの結果が大きく改善された創意工夫
- (2) 洗練された実験動物技術に実験動物福祉が大きく寄与する創意工夫
- (3) 再現性の高い実験動物技術に実験動物福祉が大きく寄与する創意工夫
- (4) 実験動物福祉に貢献する新たな技術開発に関する創意工夫
- (5) 実験動物福祉分野およびその関連技術において優れた調査や実践に関する創意工夫

- 2 選考委員会は、その他福祉奨励賞の選考に必要な基準を定めることができる。

（選考の手順）

第6条 福祉奨励賞は、全国大会において発表された全ての一般演題の中から本賞の目的に最も適した演題1題を選考し、翌年の全国総会で表彰する。

- 2 選考は以下の手順による。
 - (1) 委員は、演題の中から最も優れた発表を1題選出する。
 - (2) 各委員より選出された演題のうち最多投票の演題1題を選考委員会における選考演題とする。
 - (3) 投票が同数の場合は、選考委員長の判断により選考演題を決定する。
 - (4) 選考は全国大会の終了後に取り掛かり、選考委員長は当年12月までに選考理由とともに理事会へ報告する。
 - (5) 理事会は選考委員会から報告された演題1題に対し、特に疑義が無ければ表彰を決定する。
 - (6) 本部事務局は選考演題の筆頭演者に対し本賞の表彰が決定したことを通知し、授賞式（総会）への参加の依頼を郵送または電子媒体により通知する。
 - (7) 本部事務局は表彰状の印刷を手配し、副賞については大会主管支部に選定を依頼する。

- (8) 表彰状と副賞にかかる費用は本部の負担とする。
- (9) 表彰式では選考委員長が選考理由を述べ、理事長が授与する。

(利益相反)

第7条 選考委員会の委員が次のいずれかに該当する場合には、選考に加わるができない。

- (1) 選考対象となった講演の筆頭演者及び共同演者である場合
- (2) 審議の公平さに疑念を生じさせる利害関係・利益相反があると委員長が判断した場合

(報告)

第8条 委員長は、選考結果を理事会に報告することとする。

(改廃)

第9条 この細則の改廃は、理事会の議決による。

附 則

- 1 この細則は平成30年10月7日より施行する。
- 2 令和4年4月19日に一部改正する。
- 3 令和5年6月3日に一部改正する。

【資料6】規程類（令和4年度改正分）

一般社団法人日本実験動物技術者協会の事業における

押印文書に関する申し合わせ

1. 目的

一般社団法人日本実験動物技術者協会定款及びその他の規程等で規定された事業における、文書作成時に押印する印鑑の種類や作成までの手続きを明確にするために、この申し合わせを定める。

2. 印章の種類

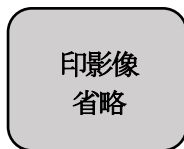
協会が用いる印章は理事長印、協会印、選挙管理委員長印、銀行印の4種類とする。

3. 印章の主管部局

印章の登録や調整、交付に関する主幹部署は事務局（事務局業務を委託しているアドスリーを含む）とする。（アドスリー業務には（アドスリー）と記載、記載のないものはアドスリー以外の事務局長、事務局員の業務とする）

4. 印章の使用について

1 理事長印



本印章の位置づけ：協会の実印（印鑑登録がされている）。

代表理事印（略称、丸印）。

使用する範囲：公的な文書

理事長印の保管は事務局（アドスリー）が行い、理事長の指示で事務局（アドスリー）が押印する。

理事長印文書は最終確認を理事長が行い、理事長は押印を事務局に依頼する。押印した文書はPDFで事務局が報告し、ドロップボックスに保管する。原本は事務局（アドスリー）にて保管する。

<定期的に理事長印を押印する文書>

1) 総会および理事会議事録：押印までの流れ

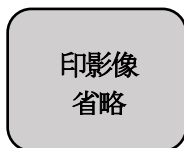
総会議事録の押印については、定款第33条2項で「議長は、前項の議事録に記名押印する。」とあるため、総会および理事会議事録については、議長（代表理事（理事長））の押印のみとする。

- ・議事録の作成は事務局員による。
- ・作成された議事録はメールにより出席者へ回覧し、追記・修正を受け完成とする。
- ・事務局より理事長へメールにて完成された議事録を送信し、理事長の確認を得る。
- ・理事長は修正がないことを確認後、事務局に押印を指示し、事務局（アドスリー）は押印した文書のPDFを理事長に送付するとともにドロップボックスへ保存する。
- ・押印文書の原本は事務局にて保存する。

2) 臨時理事会議事録

総会および理事会議事録と同手続きをとる。

2 協会印



本印章の位置づけ：協会の認印（略称、角印）。

使用する範囲：協会が発行する文書等に押印される。

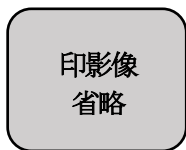
協会印の保管は事務局（アドスリー）が行い、理事長又は事務局長の指示で事務局（アドスリー）が押印する。

各部局において協会印を押印する文書を作成する場合、各部局の長は理事長及び事務局長に文書を提出し押印を依頼する。電子印の場合も同様とする。

<協会印を押印している文書等>

- 1) 評議員委嘱状
- 2) 理事・監事委嘱状書式
- 3) 部局員・委員委嘱状書式
- 4) 顕彰受賞通知文書
- 5) 技術功労賞受賞通知文書
- 6) 福祉奨励賞受賞通知文書
- 7) 表彰状(技術功労 顕彰 福祉奨励)
- 8) その他各種賞状

3 選挙管理委員長印



本印章の位置づけ：協会の選挙管理委員長の認印。
使用する範囲：理事長選挙に関する文書に用いる。

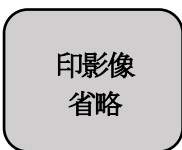
選挙管理委員長印の保管は事務局（アドスリー）が行い、選挙管理委員長の指示で事務局（アドスリー）が押印する。

各部局において選挙管理委員長印を押印する文書を作成する場合、選挙管理委員長は事務局長に文書を提出し押印を依頼する。電子印の場合も同様とする。

<選挙管理委員長印を押印している文書等>

- 1) 選挙管理委員会委嘱状
- 2) 理事長選挙投票用紙（選管委-様式5）
- 3) 選挙結果報告（協会 HP 用）
- 4) 選管第 4-6 当選確認書

4 銀行印



本印章の位置づけ：協会の銀行登録印。
使用する範囲：この印章は口座（郵便振替口座および銀行口座）の開設に使用する。銀行手続き以外の文書等には用いないこととする。

銀行印の保管は事務局（アドスリー）が行い、理事長又は事務局長の指示で事務局（アドスリー）が押印する。

口座開設以外では、理事長や所在地など登録内容の変更があった場合、郵便局および銀行へ提出する書類への押印に使用。

5 その他の印章

① 監査(個人印)

本印章の位置づけ：監査人の認印。

使用する範囲：監査に関する文書に用いる。

監事の判断により押印する。

<監査(個人印)を押印している文書等>

- 1) 年度監査報告
- 2) 選管委-様式3 監査報告

5. 紛失・毀損

協会印章を紛失又は毀損したときは、直ちに事由を付して理事長及び事務局長へ報告しなければならない。

6. 不要印章の廃棄

章の改廃により不要となった協会印章は、事務局が3年間保管しその後廃棄する。

附 則

- 1 この申し合わせは令和5年7月24日より施行する。

【資料6】規程類（令和4年度改正分）

「実験動物技術」投稿要綱

(2023年6月30日改正)

1. 投稿論文は実験動物に関する知識や技術の発展に寄与する以下に分類される未発表の論文とする。
 - 1) 原著 (Full paper) 独創性に富み、目的、結論等が明確なもの。
 - 2) 短報 (Brief note) 断片的な研究であっても、価値のある新しい知見を含むもの。
 - 3) 総説 (Review) 特定の主題について著書の視野に基づいて体系的にまとめたもの。
 - 4) 資料 (Practical information) 知識・技術等を調査取りまとめたもので研究、技術に参考となるもの。
2. 投稿する著者は、筆頭が日本実験動物技術者協会の個人会員か否かを問わないが、個人会員、一般の非会員および学生の非会員に分け、その条件と料金を定める。但し、本協会編集部から依頼された原稿についてはこの限りではない。
3. 投稿原稿は審査員により査読を行い掲載の可否を判断する。
4. 投稿原稿は原則として、一般的なアプリケーションソフトを利用した電子データとして以下に述べるファイルに分けて提出する。その際、用紙サイズは原則A4版とする。
 - 1) 論文本体（表紙から参考文献までのテキストを含むファイル）はマイクロソフト社のWordでの作成が望ましい。
 - 2) 図はマイクロソフト社のPowerPoint, Word, ExcelやJPEG, TIFF等を用いぼやけた画像や小さい画像を提出することは避ける。
 - 3) 表はマイクロソフト社のExcelやWord等を使用し作成する。
 - 4) 字体は標準的なフォントであるMS明朝やTimes New Roman等を用いる。
5. 論文の提出はCDに収めて郵送で提出するか、電子メールにファイルを添付して提出する。提出時は以下の内容を明記したテキストファイルをpaper.txtのファイル名で添付する。添付資料1の記載例を参考にする。
 - 1) 論文表題
 - 2) 筆頭著者 (first author) 氏名と責任著者 (corresponding author) 氏名
 - ① 筆頭著者の氏名を記載する。
 - ② 責任著者が筆頭著者以外にいる場合は氏名を記載する。
 - i) 筆頭著者は通常、その論文の内容を十分理解し査読時に、共著者への同意、修正や回答を行う責任著者を担う。
 - ii) 筆頭著者以外に、論文執筆について責任著者を定める場合は、責任著者がわかるように記載する。
 - 3) 筆頭著者名と責任著者連絡先
 - ① 所属機関名、連絡先住所および電話番号を明記する。なお、Eメールアドレス等の連絡手段があれば記載する。
 - 4) 筆頭著者の種別（個人会員・非会員の別および一般・学生の別）
 - 5) 送付するファイル名と使用したアプリケーションソフト名
6. 審査員の審査が終了し、最終的に論文が受理された時点で入稿用のデータを改めて提出する。
7. 原稿は、表題、図表、写真、参考文献を含めて、刷り上り頁数が8頁以内とし、超過分については著者が実費を負担する。
8. 論文の原稿の構成は以下とする。
 - 1) 第1頁に和文で論文の種類（原著、短報、総説、資料）表題、著者名、所属機関、所在地（郵便番号とも）、電子メールアドレスを明記する。
 - 2) 第2頁に英文で論文の種類（Full paper, Brief note, Review, Practical information）、表題、著者名、所属機関、所在地（郵便番号とも）、電子メールアドレス、英文要約およびキーワード（アルファベット順、5語以内）を明記する。
 - 3) 第3頁以降の記述の順は、原著論文は和文要約、序文、材料・方法、結果、考察、謝辞および文献とするが、短報、総説および資料はこの限りではない。なお、投稿論文は和文もしくは英文とする。
9. 文の書き出し及び段落を改行した場合は1字あけて書き出す。
10. 漢字は出来るだけ当用漢字の範囲内にとどめる。動物と植物の和名は原則としてカタカナ表記とし、動物、植物、微生物などの学名は斜体あるいは下線を引いて標記する。
11. 外国の地名、人名等は原語または英語綴りで記載し、固有名詞は最初の文字以外は小文字とする。
12. 数字はアラビア数字とし、度量衡の記号は原則としてSI単位を用いる。
例 m, mm, μ m, nm, l, ml, μ l, kg, g, mg, μ g, ng, pg, h, min, s, °C, rpm, Hz, Bz, %, ppm, pH, J, lx, and, dB等
13. 略号を使用する場合は論文内に初めて使用するときに完全な語句を記載し、そのあとに略語を括弧内に記載する。なお、メートル法単位および以下の略号はその限りではない。
CD, cDNA, DNA, ELISA, Ig, IL, ip, mRNA, no., PBS, PCR, RTPCR, RNA, SPF, SD, SE, SEM
14. 論文に記載された研究で動物実験を実施した場合は動物福祉や動物倫理に十分な配慮が取られている必要があり、以下の点について

て論文内に明記する。なお、原著論文は材料・方法の項目に記載する。

- 1) それぞれの機関のガイドラインに従って実施し、機関の動物実験委員会で審査したことを示す（委員会の承認番号等）。
 - 2) 上記が難しい場合は動物福祉および倫理に十分に配慮したことを明記する。
15. 引用文献は、本文中の引用箇所の上に引用順に文献番号を付け、本文の末尾に引用した順に並べる。
- 1) 雑誌の場合
著者名、(発行年)、表題、雑誌名、巻、開始頁-最終頁。
例) 齋藤宗雄、今井都奏、橋本春夫、(2017)、ビニールアイソレータの圧力変化を応用した空気漏洩の簡便な検査法の確立、実験動物技術、51、41-46。
 - 2) 単行本の場合
著者名、(発行年)、書名、版、開始頁-最終頁、発行所、発行地。
例) 笠井一弘(2007)、アニマルマネジメント 動物管理・実験技術と最新ガイドライン、第1版、225-227、株式会社アドスリー、東京。
 - 3) 電子資料の場合
発信機関名、ウェブページの名前、ウェブサイト名称、URL、(引用年月日 month day, year)。
例) 日本学術会議、日本学術会議、年次報告・外部評価書、
http://www.scj.go.jp/ja/scj/nenji_hyoka/index.html (April 14, 2017)。
16. 図、表ならびに写真はそのまま製版できるようにし、本文中にその挿入箇所を明記する。なお、図表ならびに写真には必ず番号を記載する。表題、説明文及び単語等は、原則的に英語表記とする。
 17. 受理され入稿の際、写真は解像度によって印刷紙に焼き付けたものの提出を求めることがある。
 18. 著者校正は原則として初校のみとし、その際新たな追加、変更は認めない。それ以降は編集者の責任校正とする。
 19. 本誌に掲載されている記事の著作権は日本実験動物技術者協会に帰属する。出版に際して実験動物技術者協会から発行される著作権に関する承諾書（添付資料2）に必要事項を記載し論文採択後に原稿とともに提出する。
 20. 論文掲載料は論文1編あたり別表4に定めるとおりとする。
 21. 別刷り料金は別表5に定めるとおりとする。筆頭が非会員（一般・学生）の場合は、その1.5倍の料金とする。必要部数は初校の際に明記する。
 22. 本誌の発行は6月と12月の年2回とする。
 23. 英語論文の投稿については24.項の照会先に照会する。
 24. 原稿の送付および投稿に関する照会は下記宛とする。
〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-20 サンライズビル II 3F
株式会社アドスリー内
日本実験動物技術者協会 編集部事務局 TEL (FAX) 03-3269-3531

別表4 「実験動物技術」論文投稿の条件と料金表（2023年6月30日現在）

	種別	機関誌投稿の条件	機関誌掲載料
個人会員	一般	筆頭投稿可能	10,000円
	学生	筆頭投稿可能	10,000円
非会員	一般	筆頭投稿可能（但し責任著者は個人会員に限る）	50,000円
	学生	筆頭投稿可能（但し責任著者は個人会員に限る）	15,000円

別表5 「実験動物技術」別刷作成料金表（2023年6月30日現在）

部数	白黒印刷		カラー印刷	
	表紙付	表紙無	表紙付	表紙無
50	48,000円	35,000円	192,000円	140,000円
100	48,000円	35,000円	192,000円	140,000円

※表は筆頭が個人会員の場合の料金である。非会員（一般・学生）の場合は表の1.5倍の料金とする。

投稿論文データ
(テキストファイルで提出してください)

- 1) 提出日 (年 月 日)
- 2) 論文種類 (原著・短報・総説・資料)
(該当するものを○で囲んで下さい)
- 3) 論文表題 ()
- 4) 筆頭著者 (first author)
- ① 氏名 ()
- ② 所属機関名 ()
- ③ 連絡先住所 ()
- ④ 連絡先電話番号 ()
- ⑤ 連絡先メールアドレス ()
- ⑥ 種別 (会員・非会員/一般・学生)
(該当するものをそれぞれ○で囲んで下さい)
- 5) 責任著者^(※) (corresponding author) 3)と同じ場合は「同上」で可
- ① 氏名 ()
- ② 所属機関名 ()
- ③ 連絡先住所 ()
- ④ 連絡先電話番号 ()
- ⑤ 連絡先メールアドレス ()
- 6) 送付するファイルと使用アプリケーションソフト名
(ファイル名, 拡張子, 使用したアプリケーションソフト名)
- ① (body . docx , MS ワード2013) 【記載例】
- ① (. ,)
- ② (. ,)
- ③ (. ,)
- ④ (. ,)
- ⑤ (. ,)

(*) 責任著者については実験動物技術投稿要綱 5. 2)を参照のこと。

実験動物技術者協会 承諾書

一般社団法人 日本実験動物技術者協会
編集部長殿

【論文種類】

原著・短報・総説・資料

(該当するものを○で囲んで下さい)。

【論文表題】

表記論文について、本論文は現在までに他の雑誌に発表されたことはありません。また、本論文が一般社団法人 実験動物技術者協会の機関誌「実験動物技術」に掲載された場合には、その著作権が本協会に帰属することに同意します。

尚、署名は責任著者^(※)が行い、共同著者がいる場合は、著作権の帰属について、全ての共同著者が同意しています。

所属機関・団体名

責任著者署名(自筆)

署名年月日

(年 月 日)

本承諾書は論文が受理された後に、以下に郵送もしくは電子体のメール送付をお願いします。

〒 162-0814 東京都新宿区新小川町5-20 サンライズビルII 3F

株式会社アドスリー内

一般社団法人 日本実験動物技術者協会 編集部事務局 TEL (FAX) 03-3269-3531

Email: jaeat@adthree.com

(*) 責任著者については実験動物技術投稿要綱 5. 2)を参照のこと。

【添付】

2023年10月5日協会HP公開分

第57回総会総会議案書（案）からの一部追記・修正箇所一覧

2023年10月12日追記・修正対応

p. 2

追記「7. 本部共催講演会および講習会を以下の通り行った。1)」の後に挿入。

2) 第430回本部共催講演会「動物実験基本手技 実技講習会」

期日：2023年7月20日～22日、講師：根津義和先生（第一三共株式会社）、志津野博先生（ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社）、平野貢先生（わかもと製薬株式会社）、新田牧希江先生（ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社）西中栄子先生（実験動物中央研究所）、高橋秀幸先生（国立国際医療研究センター）

開催支部：関東支部、参加者：一般会員7名、協賛/賛助会員5名、非会員16名、招待5名

p. 6

当初記載）

・実験動物基本手技実験動物実技講習会

講師：根津義和、志津野博、高橋秀幸、平野貢、西中栄子、新田 牧希江

期日：2023年7月20-22日、場所：日本獣医生命科学大学、参加者：会員11名、非会員13名

↓

修正後）

・動物実験基本手技実技講習会 第430回本部共催

講師：根津義和、志津野博、平野貢、新田牧希江、西中栄子、高橋秀幸

期日：2023年7月20-22日、場所：日本獣医生命科学大学

参加者：一般会員7名、協賛/賛助会員5名、非会員16名、招待5名

P. 6

当初記載）

・令和5年度 第1回幹事会、期日：2023年4月8日、場所：(株)夏目製作所（東京都文京区）(ZOOMによるオンライン会議)

・令和5年度 第2回幹事会、期日：2023年6月3日、場所：(株)夏目製作所（東京都文京区）(ZOOMによるオンライン会議)

・令和5年度 第3回幹事会、期日：2023年8月5日、場所：(株)夏目製作所（東京都文京区）(ZOOMによるオンライン会議)

↓

修正後）

・令和5年度 第1回幹事会（ZOOMによるオンライン会議）

期日：2023年4月8日、主会場：株式会社夏目製作所（東京都文京区）参加者10名

・令和5年度 第2回幹事会（ZOOMによるオンライン会議）

期日：2023年6月3日、主会場：株式会社夏目製作所（東京都文京区）参加者10名

・令和5年度 第3回幹事会（ZOOMによるオンライン会議）

期日：2023年8月5日、主会場：株式会社夏目製作所（東京都文京区）参加者9名

p. 22

当初記載）

・第49回関東支部懇話会「実験動物とデジタル革命」

期日：2024年2月17日、ZOOM ウェビナー 主会場：株式会社夏目製作所（東京都文京区）

↓

修正後）

・第49回関東支部懇話会「実験動物とデジタル革命」

期日：2024年2月17日、場所：川崎市産業振興会館（神奈川県川崎市） およびZOOM ウェビナー

p. 22

当初記載)

- ・動物実験基本手技実技講習会
講師：調整中（関東支部ホームページ参照）
期日・場所：調整中（関東支部ホームページ参照）

↓

修正後)

- ・動物実験基本手技実技講習会 検討中
講師・期日・場所 検討中

p. 22

当初記載)

- ・令和5年度総会
期日：2024年2月17日、場所：株式会社夏目製作所（東京都文京区）

↓

修正後)

- ・令和5年度関東支部総会
期日：2024年2月17日、場所：川崎市産業振興会館（神奈川県川崎市）